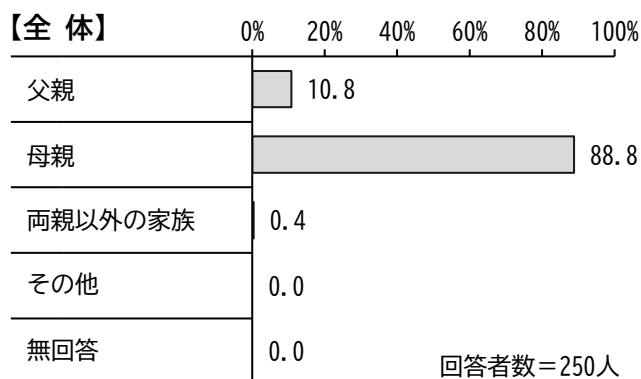

第3章 児童（18歳未満）の保護者向け 調査結果

1. 回答者（問1）

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（〇は1つ）

POINT

- 【全 体】回答者の約9割近くが母親。
- 【年齢別】すべての年齢で母親の回答が約9割。



【年齢別】回答者(クロス集計)

		回答者数	父親	母親	両親以外の家族	その他	無回答
【全 体】		250 100.0	27 10.8	<u>222</u> <u>88.8</u>	1 0.4	0 0.0	0 0.0
【年齢別】	0~5 歳	91 100.0	10 11.0	<u>81</u> <u>89.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	6~12 歳	128 100.0	14 10.9	<u>113</u> <u>88.3</u>	1 0.8	0 0.0	0 0.0
	13~15 歳	18 100.0	2 11.1	<u>16</u> <u>88.9</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16~17 歳	13 100.0	1 7.7	<u>12</u> <u>92.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2. 児童、家族などについて（問2～問4）

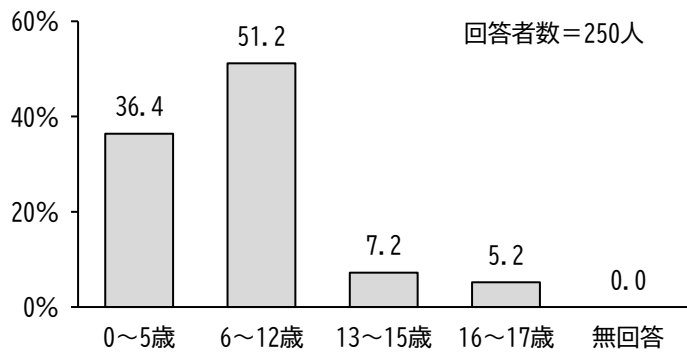
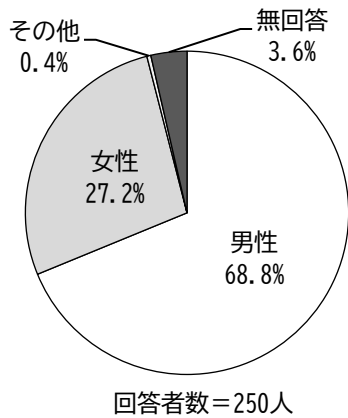
（1）児童の性別・年齢

問2 あて名のお子さんの性別と令和7年9月1日現在の年齢をお答えください。

POINT

- 【全 体】性別は7割近くが男性。年齢は6～12歳が最も高く5割超え。
- 【年齢別】すべての年齢で男性が6～7割台。

【全 体】



【年齢別】児童の性別(クロス集計)

		回答者数	男性	女性	その他	無回答
【全 体】		250	172	68	1	9
		100.0	68.8	27.2	0.4	3.6
【年齢別】	0～5歳	91	65	23	0	3
		100.0	71.4	25.3	0.0	3.3
	6～12歳	128	83	38	1	6
		100.0	64.8	29.7	0.8	4.7
	13～15歳	18	14	4	0	0
		100.0	77.8	22.2	0.0	0.0
	16～17歳	13	10	3	0	0
		100.0	76.9	23.1	0.0	0.0

(2) 児童と一緒に暮らしている方

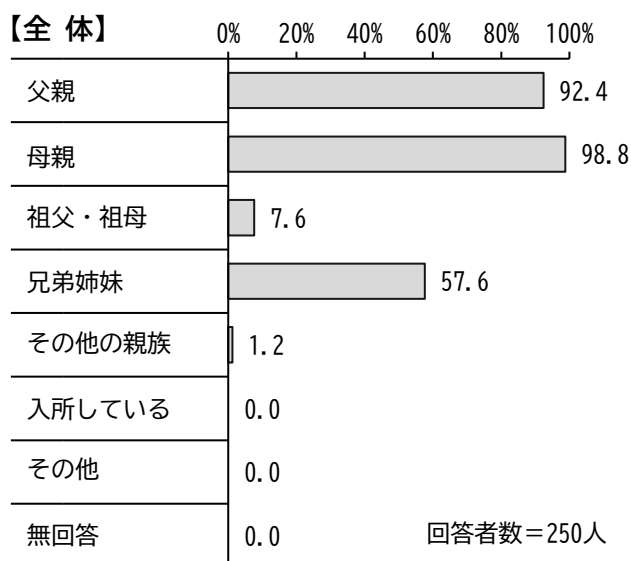
問3 お子さんは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

父親、母親と一緒に暮らしている場合、就労状況もお答えください。

※お子さんからみた続柄(関係)で回答してください。単身赴任も一緒に暮らしているものと見なしてください。

POINT

- 【全 体】 母親・父親と同居する児童が9割以上。
- 【年齢別】 年齢が高くなるにつれて父親と同居する割合が減少。



【年齢別】 児童と一緒に暮らしている方(クロス集計)

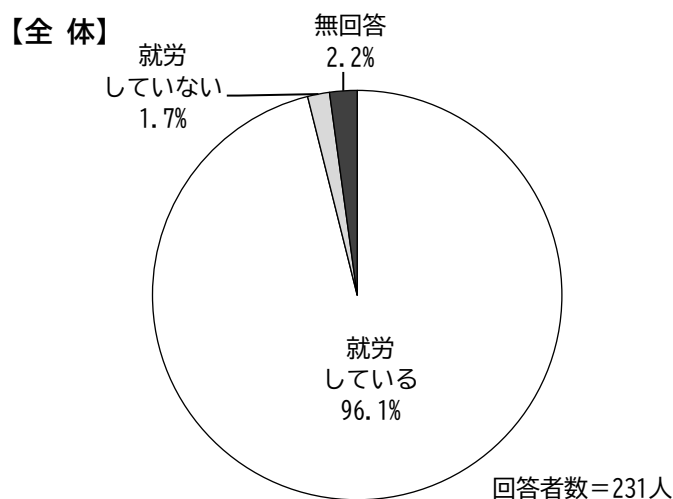
	回答者数	父親	母親	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他の親族	入所している	その他	無回答
【全 体】	250 100.0	231 92.4	<u>247</u> <u>98.8</u>	19 7.6	144 57.6	3 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	87 95.6	<u>89</u> <u>97.8</u>	8 8.8	49 53.8	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	116 90.6	<u>127</u> <u>99.2</u>	8 6.3	76 59.4	2 1.6	0 0.0	0 0.0
	13~15歳	18 100.0	17 94.4	<u>18</u> <u>100.0</u>	3 16.7	12 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	11 84.6	<u>13</u> <u>100.0</u>	0 0.0	7 53.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(3) 両親の就労状況

① 父親の就労状況

POINT

- 【全 体】 父親の就労状況は9割半ばと高い。
- 【年齢別】 すべての年齢で、父親はほぼ就労している。



【年齢別】 父親の就労状況(クロス集計)

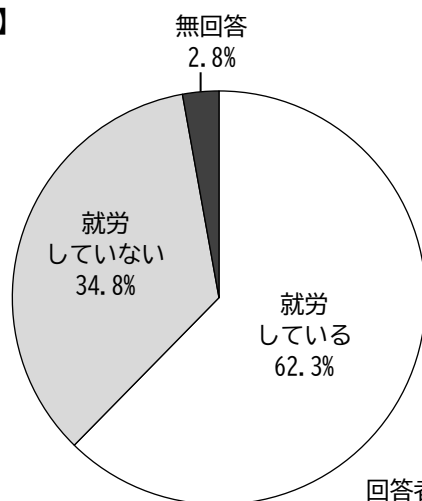
		回答者数	就労している	就労していない	無回答
【全 体】		231 100.0	<u>222</u> <u>96.1</u>	4 1.7	5 2.2
【年齢別】	0~5 歳	87 100.0	<u>86</u> <u>98.9</u>	1 1.1	0 0.0
	6~12 歳	116 100.0	<u>109</u> <u>94.0</u>	2 1.7	5 4.3
	13~15 歳	17 100.0	<u>16</u> <u>94.1</u>	1 5.9	0 0.0
	16~17 歳	11 100.0	<u>11</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0

② 母親の就労状況

POINT

- 【全 体】 母親の就労状況は6割超え。
- 【年齢別】 すべての年齢で就労している割合が高く、13～15歳では8割超え。

【全 体】



回答者数=247人

【年齢別】 母親の就労状況(クロス集計)

		回答者数	就労している	就労していない	無回答
【全 体】		247	<u>154</u> 62.3	86	7
【年齢別】	0～5歳	89	<u>55</u> 61.8	34	0
	6～12歳	127	<u>75</u> 59.1	46	6
	13～15歳	18	<u>15</u> 83.3	3	0
	16～17歳	13	<u>9</u> 69.2	3	1

(4) 介護や支援の状況

① 児童の介護や支援をしている方

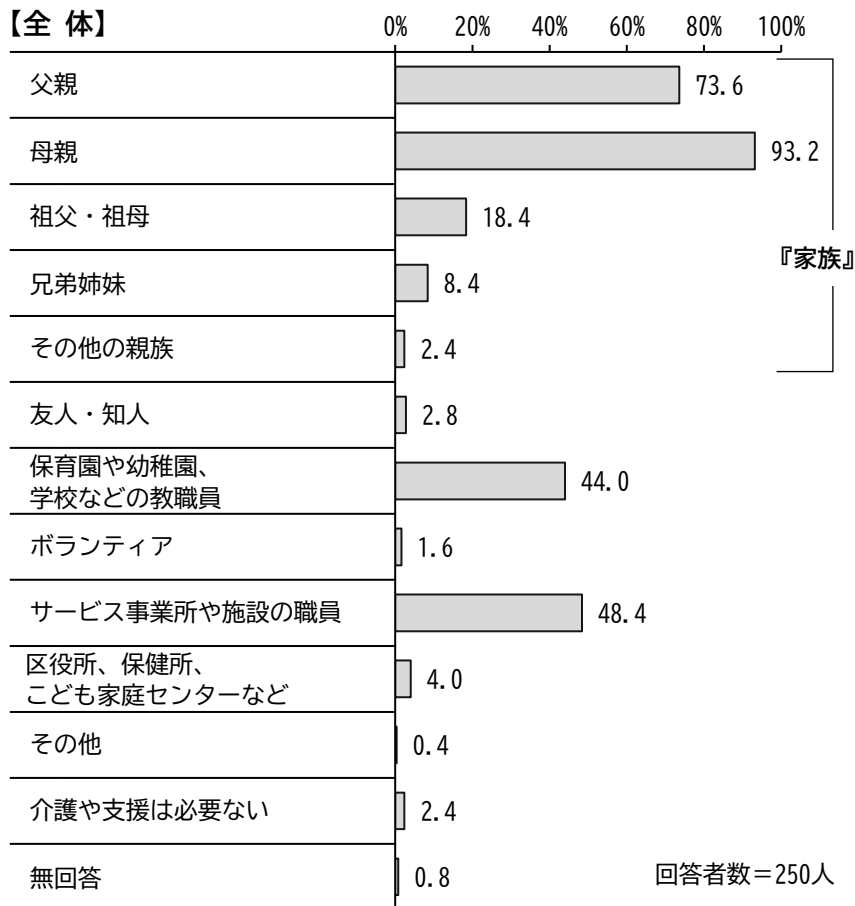
問4 お子さんの介護や支援している方はどなたですか。(〇はいくつでも)

※お子さんからみた続柄(関係)でお答えください。

POINT

- 【全 体】 母親が支援の中心。父親や施設職員、教職員も割合が高い。
- 【年齢別】 13～15歳で、『家族』以外の支援割合が高い。

※『家族』 = 「父親」「母親」「祖父・祖母」「兄弟姉妹」「その他の親族」に1つでも回答した方



【年齢別】児童の介護や支援をしている方(クロス集計)

		回答者数	父親	母親	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他の親族	友人・知人	保育園や幼稚園、 学校などの教職員	ボランティア
【全体】		250 100.0	184 73.6	<u>233</u> <u>93.2</u>	46 18.4	21 8.4	6 2.4	7 2.8	110 44.0	4 1.6
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	74 81.3	<u>85</u> <u>93.4</u>	21 23.1	2 2.2	1 1.1	1 1.1	47 51.6	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	88 68.8	<u>119</u> <u>93.0</u>	21 16.4	14 10.9	3 2.3	3 2.3	50 39.1	3 2.3
	13~15歳	18 100.0	13 72.2	<u>17</u> <u>94.4</u>	4 22.2	3 16.7	1 5.6	2 11.1	10 55.6	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	9 69.2	<u>12</u> <u>92.3</u>	0 0.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	3 23.1	1 7.7

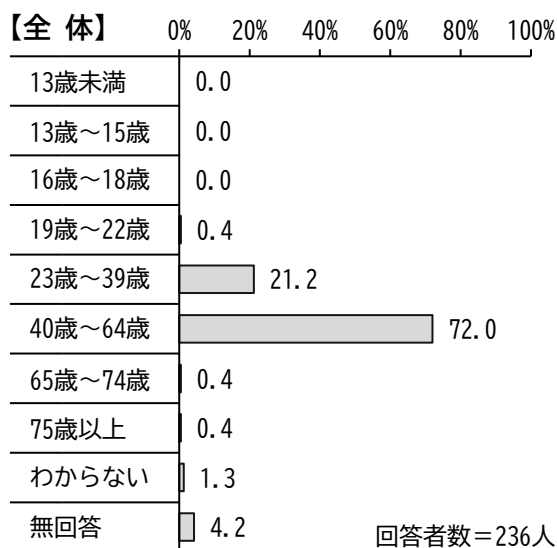
		回答者数	サービス事業所や施設 の職員	区役所、保健所、 こども家庭センター など	その他	介護や支援は必要な い	無回答
【全体】		250 100.0	121 48.4	10 4.0	1 0.4	6 2.4	2 0.8
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	36 39.6	4 4.4	0 0.0	2 2.2	2 2.2
	6~12歳	128 100.0	66 51.6	3 2.3	1 0.8	3 2.3	0 0.0
	13~15歳	18 100.0	12 66.7	2 11.1	0 0.0	1 5.6	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	7 53.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

② 児童の介護や支援をしている家族の年齢

問4で「父親」「母親」「祖父・祖母」「兄弟姉妹」「その他の親族」の家族と回答された方
問4-A 主に介護や支援している方の年齢はいくつですか。(○は1つ)

POINT

- 【全 体】主に介護や支援を担う家族の多くは40～64歳。
- 【年齢別】児童の年齢が上がるほど40～64歳の割合が高まり、16～17歳では全員が該当。



【年齢別】児童の介護や支援をしている家族の年齢(クロス集計)

	回答者数	13歳未満	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳～22歳	23歳～39歳	40歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	わからない	無回答
【全 体】	236 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	50 21.2	<u>170</u> <u>72.0</u>	1 0.4	1 0.4	3 1.3	10 4.2
【年齢別】	0～5歳	86 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 39.5	<u>43</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	1 1.2	8 9.3
	6～12歳	121 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	15 12.4	<u>100</u> <u>82.6</u>	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.7
	13～15歳	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	<u>15</u> <u>88.2</u>	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0
	16～17歳	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>12</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

3. 児童の障害等の状況について（問5～問6）

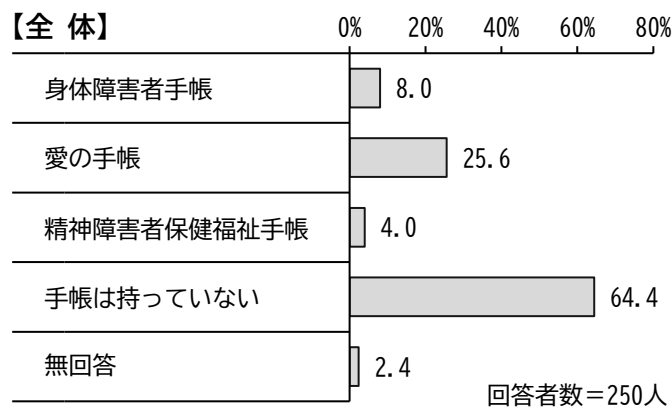
（1）手帳の種類・程度

① 手帳の種類

問5 お子さんの現在お持ちの障害者手帳と障害の程度などについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

POINT

- 【全 体】 手帳を持っていない児童が6割半ば。
- 【年齢別】 年齢が上がるにつれて、愛の手帳の所持率が高まり、16～17歳では約7割が愛の手帳を所持。



【年齢別】 手帳の種類(クロス集計)

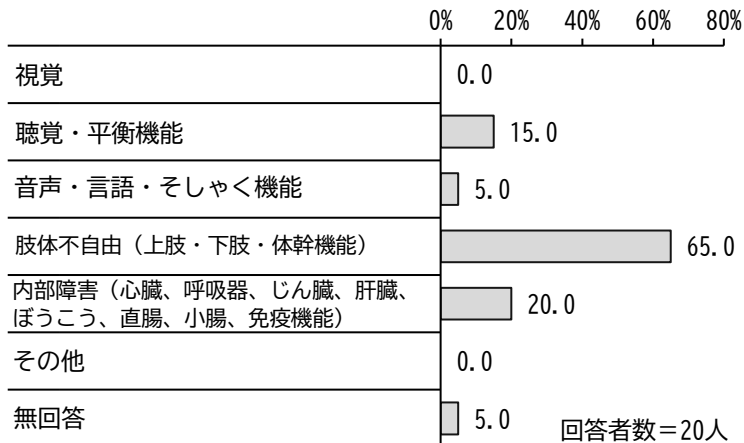
	回答者数	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳を持っていない	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
【全 体】	250	20	64	10	<u>161</u>	6	
	100.0	8.0	25.6	4.0	<u>64.4</u>	2.4	
【年齢別】	0～5歳	91	3	12	1	<u>73</u>	4
		100.0	3.3	13.2	1.1	<u>80.2</u>	4.4
	6～12歳	128	12	34	5	<u>80</u>	2
		100.0	9.4	26.6	3.9	<u>62.5</u>	1.6
	13～15歳	18	4	<u>9</u>	2	5	0
	100.0	22.2	<u>50.0</u>	11.1	27.8	0.0	
	16～17歳	13	1	<u>9</u>	2	3	0
	100.0	7.7	<u>69.2</u>	15.4	23.1	0.0	

② 手帳の程度など

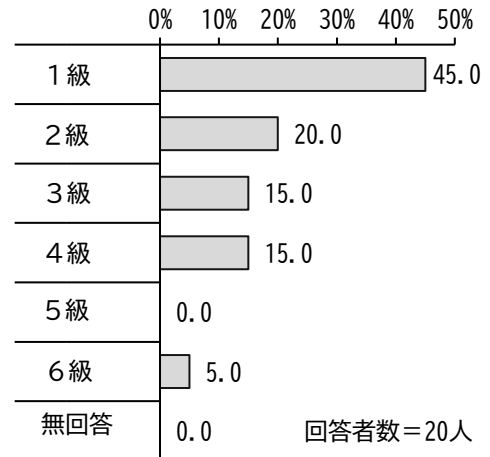
POINT

- 身体障害者手帳を所持する児童の障害の部位は肢体不自由の割合が高く、等級は1級の割合が高い。
- 愛の手帳は軽度の4度が約4割、精神障害者保健福祉手帳は3級が6割。

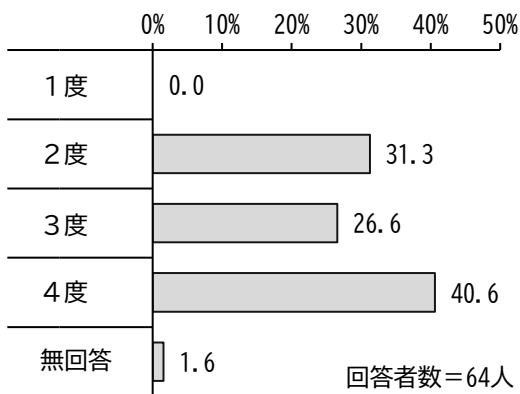
【身体障害者手帳 障害の部位】 (○はいくつでも)



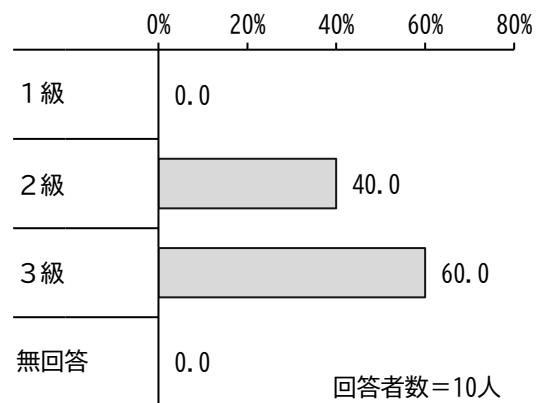
【身体障害者手帳の等級】 (○は1つ)



【愛の手帳の程度】 (○は1つ)



【精神障害者保健福祉手帳の等級】 (○は1つ)



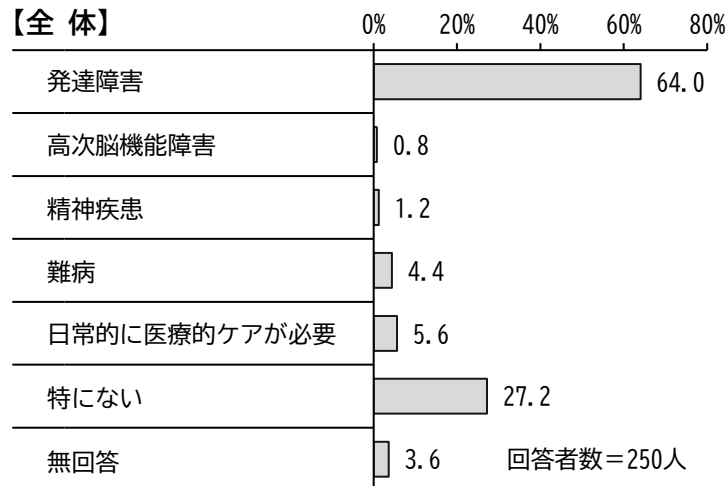
(2) その他障害等の状況

① その他障害等の状況

問6 以下について、お子さんにあてはまるものはありますか。(○はいくつでも)

POINT

- 【全 体】 発達障害が6割半ば。
- 【年齢別】 特に6～12歳と16～17歳で発達障害が7割台。



【年齢別】 その他障害等の状況(クロス集計)

	回答者数	発達障害	高次脳機能障害	精神疾患	難病	日常的に医療的ケアが必要	特にない	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
【全 体】	250	<u>160</u>	2	3	11	14	68	9
	100.0	<u>64.0</u>	0.8	1.2	4.4	5.6	27.2	3.6
【年齢別】	0～5歳	91	<u>43</u>	0	0	3	40	5
		100.0	<u>47.3</u>	0.0	0.0	3.3	44.0	5.5
	6～12歳	128	<u>96</u>	1	2	3	22	4
		100.0	<u>75.0</u>	0.8	1.6	2.3	17.2	3.1
13～15歳	18	<u>11</u>	1	1	3	2	4	0
	100.0	<u>61.1</u>	5.6	5.6	16.7	11.1	22.2	0.0
16～17歳	13	<u>10</u>	0	0	2	0	2	0
	100.0	<u>76.9</u>	0.0	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0

② 医療的ケアの状況

問6で「日常的に医療的ケア(★)が必要」と回答された方

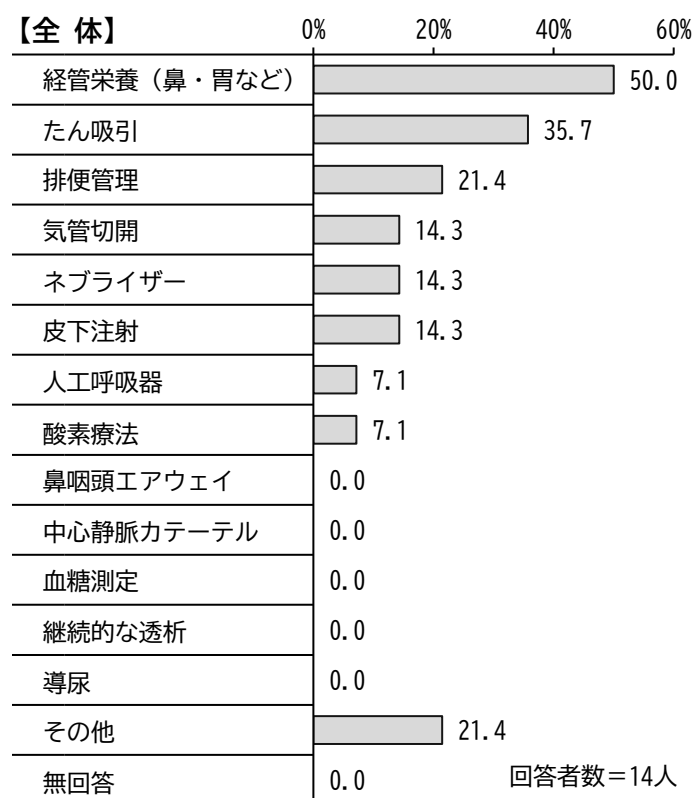
問6-A お子さんが現在受けている医療的ケアをお答えください。(○はいくつでも)

★医療的ケア

医師の指示や管理のもと、医療機関以外での場所（家、学校など）で、家族や看護師等が行う、日常必要とされる呼吸・栄養摂取・排泄などに関わる医療的な生活援助行為のことです。

POINT

- 【全 体】 医療的ケアが必要な児童の半数が経管栄養を受けている。
- 【通園・通学状況別】 就学年齢で通学している児童では経管栄養やたん吸引、排便管理、気管切開など多様なケアを受けている。



【通園・通学状況別】医療的ケアの状況(クロス集計)

		回答者数	経管栄養(鼻・胃など)	たん吸引	排便管理	気管切開	ネブライザー	皮下注射	人工呼吸器	酸素療法
【全体】		14 100.0	<u>7</u> <u>50.0</u>	5 35.7	3 21.4	2 14.3	2 14.3	2 14.3	1 7.1	1 7.1
【通園・通学状況別】	就学前で通園・通学している	5 100.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	就学年齢で通学している	9 100.0	<u>5</u> <u>55.6</u>	<u>5</u> <u>55.6</u>	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1
	通園・通学していない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		回答者数	鼻咽頭エアウェイ	中心静脈カテーテル	血糖測定	継続的な透析	導尿	その他	無回答
【全体】		14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0
【通園・通学状況別】	就学前で通園・通学している	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	就学年齢で通学している	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	通園・通学していない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

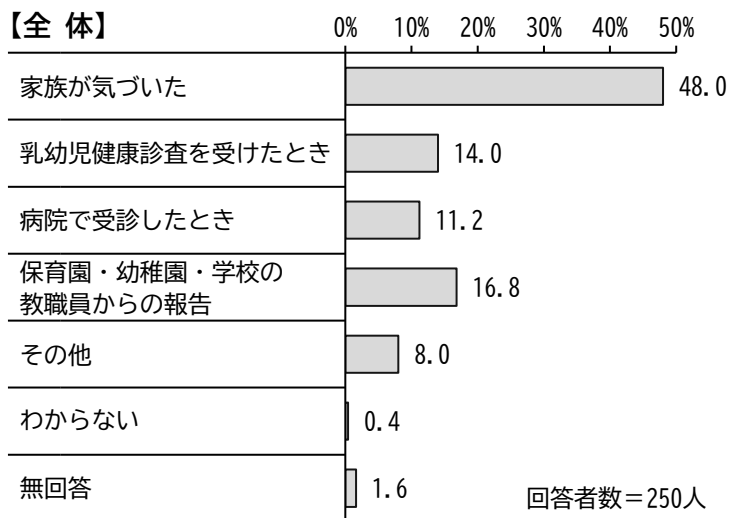
※【通園・通学状況別】の詳細は、90 ページを参照

4. 発達に関する不安や対応について（問7～問10）

（1）発達に関する不安や障害に気づいたきっかけ

問7 お子さんの発達に関する不安や障害に気づいたきっかけは何ですか。（○は1つ）

POINT ■【全体】 家族による気づきが最も高く5割近い。教職員、乳幼児健診、病院による気づきは1割台。



【年齢別】 発達に関する不安や障害に気づいたきっかけ(クロス集計)

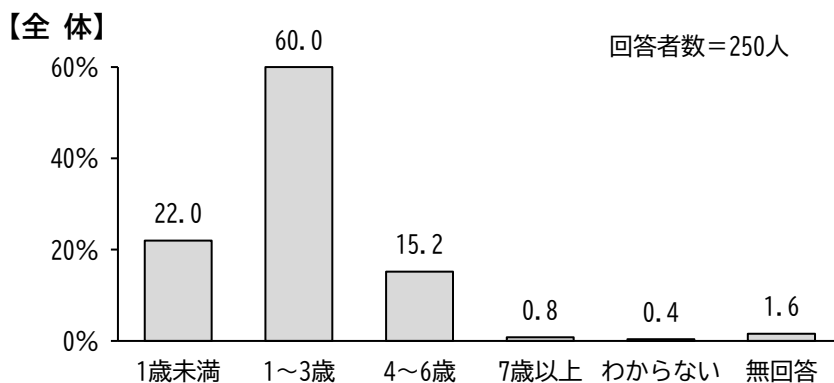
		回答者数	家族が気づいた	乳幼児健康診査を受けたとき	病院で受診したとき	保育園・幼稚園・学校の教職員からの報告	その他	わからない	無回答
【全体】		250 100.0	120 48.0	35 14.0	28 11.2	42 16.8	20 8.0	1 0.4	4 1.6
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	46 50.5	17 18.7	8 8.8	14 15.4	6 6.6	0 0.0	0 0.0
	6～12歳	128 100.0	63 49.2	13 10.2	16 12.5	23 18.0	10 7.8	1 0.8	2 1.6
	13～15歳	18 100.0	5 27.8	4 22.2	3 16.7	3 16.7	2 11.1	0 0.0	1 5.6
	16～17歳	13 100.0	6 46.2	1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4	0 0.0	1 7.7

(2) 気づいたときの児童の年齢

問8 お子さんの発達に関する不安や障害に気づいたときのお子さんの年齢はいくつですか。
(○は1つ)

POINT

- 【全 体】 1～3歳での気づきが最も高く6割。
- 【年齢別】 現在0～5歳の児童の約7割半ばが1～3歳で気づいており、早期の気づきがある。



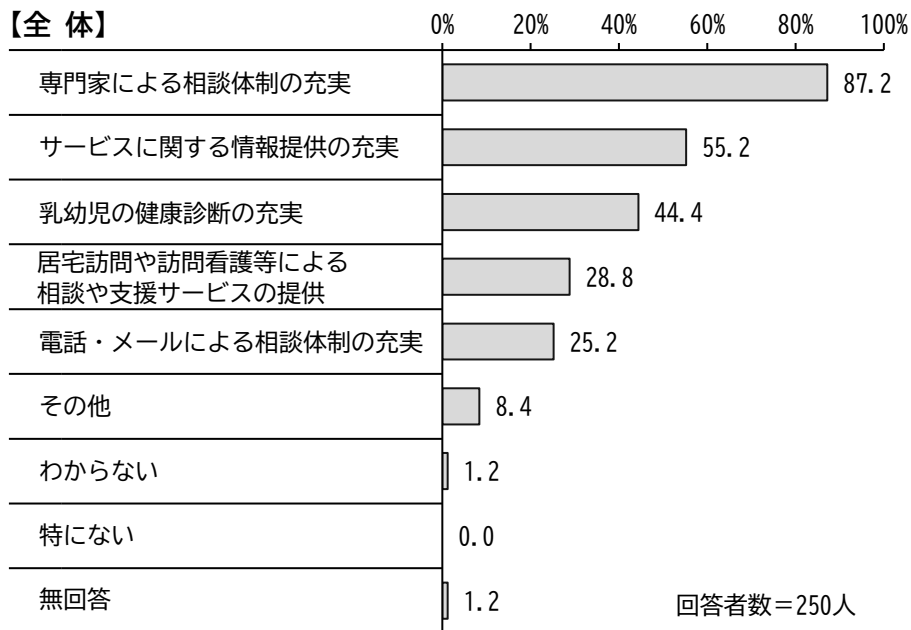
【年齢別】 気づいたときの児童の年齢(クロス集計)

		回答者数	1歳未満	1歳～3歳	4歳～6歳	7歳以上	わからない	無回答
【全 体】		250 100.0	55 22.0	<u>150</u> <u>60.0</u>	38 15.2	2 0.8	1 0.4	4 1.6
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	17 18.7	<u>68</u> <u>74.7</u>	5 5.5	0 0.0	0 0.0	1 1.1
	6～12歳	128 100.0	28 21.9	<u>65</u> <u>50.8</u>	31 24.2	2 1.6	1 0.8	1 0.8
	13～15歳	18 100.0	6 33.3	<u>10</u> <u>55.6</u>	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6
	16～17歳	13 100.0	4 30.8	<u>7</u> <u>53.8</u>	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7

(4) 早期支援のために必要なこと

問 10 お子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思えますか。
(○はいくつでも)

- POINT**
- 【全 体】 専門家による相談体制の充実が9割近く、最も重視されている。
 - 【年齢別】 すべての年齢で専門家による相談体制の充実が8割台。
進学・就学など将来を選択する時期である16～17歳ではサービスに関する情報提供の充実も8割台。



【年齢別】早期支援のために必要なこと(クロス集計)

	回答者数	専門家による相談体制の充実	サービスに関する情報提供の充実	乳幼児の健康診断の充実	居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供	電話・メールによる相談体制の充実	その他	わからない	特にない	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
【全 体】	250	<u>218</u> 87.2	138	111	72	63	21	3	0	3
【年齢別】	0～5歳	91	<u>78</u> 85.7	47	44	19	24	9	1	0
	6～12歳	128	<u>113</u> 88.3	70	55	38	29	11	2	1
	13～15歳	18	<u>16</u> 88.9	10	7	6	3	1	0	1
	16～17歳	13	<u>11</u> 84.6	<u>11</u> 84.6	5	9	7	0	0	1
		100.0			38.5	69.2	53.8	0.0	0.0	0.0

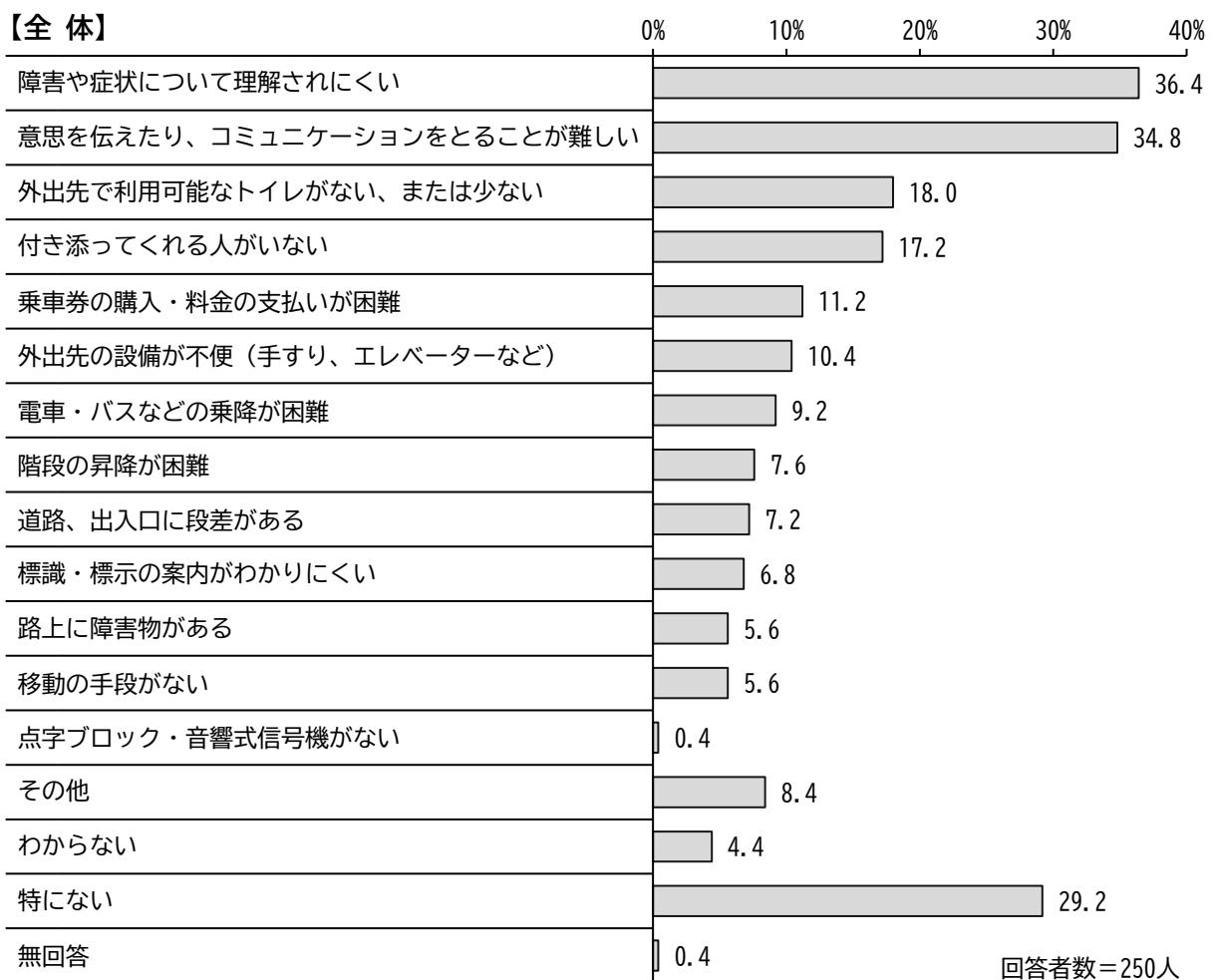
5. 日中活動について（問11～問13）

（1）外出する際の困りごと

問11 お子さんと一緒に、またはお子さんがひとりで外出するときに、困ったり不便を感じたりすることは何ですか。（〇はいくつでも）

POINT

- 【全 体】 障害や症状が理解されにくい、意思疎通やコミュニケーションの難しさが上位で3割台。
- 【年齢別】 年齢が高くなるにつれて意思疎通やコミュニケーションに難しさを感じる割合が高く、16～17歳では8割近い。



【年齢別】外出する際の困りごと(クロス集計)

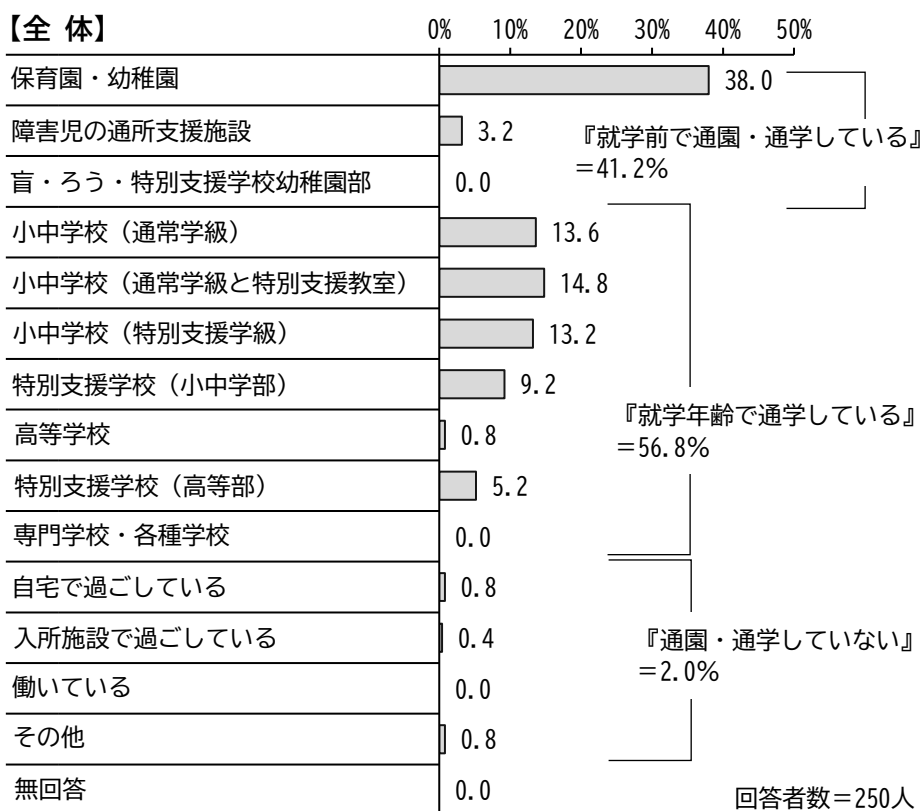
	回答者数	障害や症状について理解されにくい	意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	外出先で利用可能なトイレがない、または少ない	付き添ってくれる人がいない	乗車券の購入・料金の支払いが困難	外出先の設備が不便(手すり、エレベーターなど)	電車・バスなどの乗降が困難	階段の昇降が困難	道路、出入口に段差がある	
【全体】	250 100.0	91 36.4	87 34.8	45 18.0	43 17.2	28 11.2	26 10.4	23 9.2	19 7.6	18 7.2	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	22 24.2	24 26.4	13 14.3	7 7.7	3 3.3	10 11.0	3 3.3	5 5.5	4 4.4
	6~12歳	128 100.0	53 41.4	42 32.8	22 17.2	24 18.8	16 12.5	12 9.4	13 10.2	10 7.8	9 7.0
	13~15歳	18 100.0	10 55.6	11 61.1	6 33.3	6 33.3	6 33.3	4 22.2	5 27.8	4 22.2	5 27.8
	16~17歳	13 100.0	6 46.2	10 76.9	4 30.8	6 46.2	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0

	回答者数	標識・標示の案内がわかりにくい	路上に障害物がある	移動の手段がない	点字ブロッック・音響式信号機がない	その他	わからない	特にない	無回答	
【全体】	250 100.0	17 6.8	14 5.6	14 5.6	1 0.4	21 8.4	11 4.4	73 29.2	1 0.4	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	3 3.3	2 2.2	1 1.1	0 0.0	8 8.8	6 6.6	36 39.6	1 1.1
	6~12歳	128 100.0	9 7.0	6 4.7	8 6.3	1 0.8	8 6.3	5 3.9	35 27.3	0 0.0
	13~15歳	18 100.0	3 16.7	5 27.8	3 16.7	0 0.0	3 16.7	0 0.0	2 11.1	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(2) 平日の日中の過ごし方

問 12 お子さんは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

POINT	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 【全体】『就学前で通園・通学している』児童は4割超え、『就学年齢で通学している』児童は6割近い。 ▪ 【年齢別】0～5歳では約9割が保育園・幼稚園に通い、6～15歳では多様な学校形態に分かれ、16～17歳では8割半ばが特別支援学校高等部に通学している。
--------------	---



【年齢別】平日の日中の過ごし方(クロス集計)

		回答者数	保育園・幼稚園	障害児の通所支援施設	盲・ろう・特別支援学校 幼稚園部	小中学校(通常学級)	小中学校(通常学級と 特別支援教室)	小中学校(特別支援学級)	特別支援学校(小中学部)	高等学校	特別支援学校(高等部)
【全体】		250 100.0	<u>95</u> <u>38.0</u>	8 3.2	0 0.0	34 13.6	37 14.8	33 13.2	23 9.2	2 0.8	13 5.2
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	<u>81</u> <u>89.0</u>	8 8.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	14 10.9	0 0.0	0 0.0	32 25.0	<u>34</u> <u>26.6</u>	27 21.1	19 14.8	0 0.0	0 0.0
	13~15歳	18 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.1	3 16.7	<u>6</u> <u>33.3</u>	4 22.2	0 0.0	2 11.1
	16~17歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	<u>11</u> <u>84.6</u>

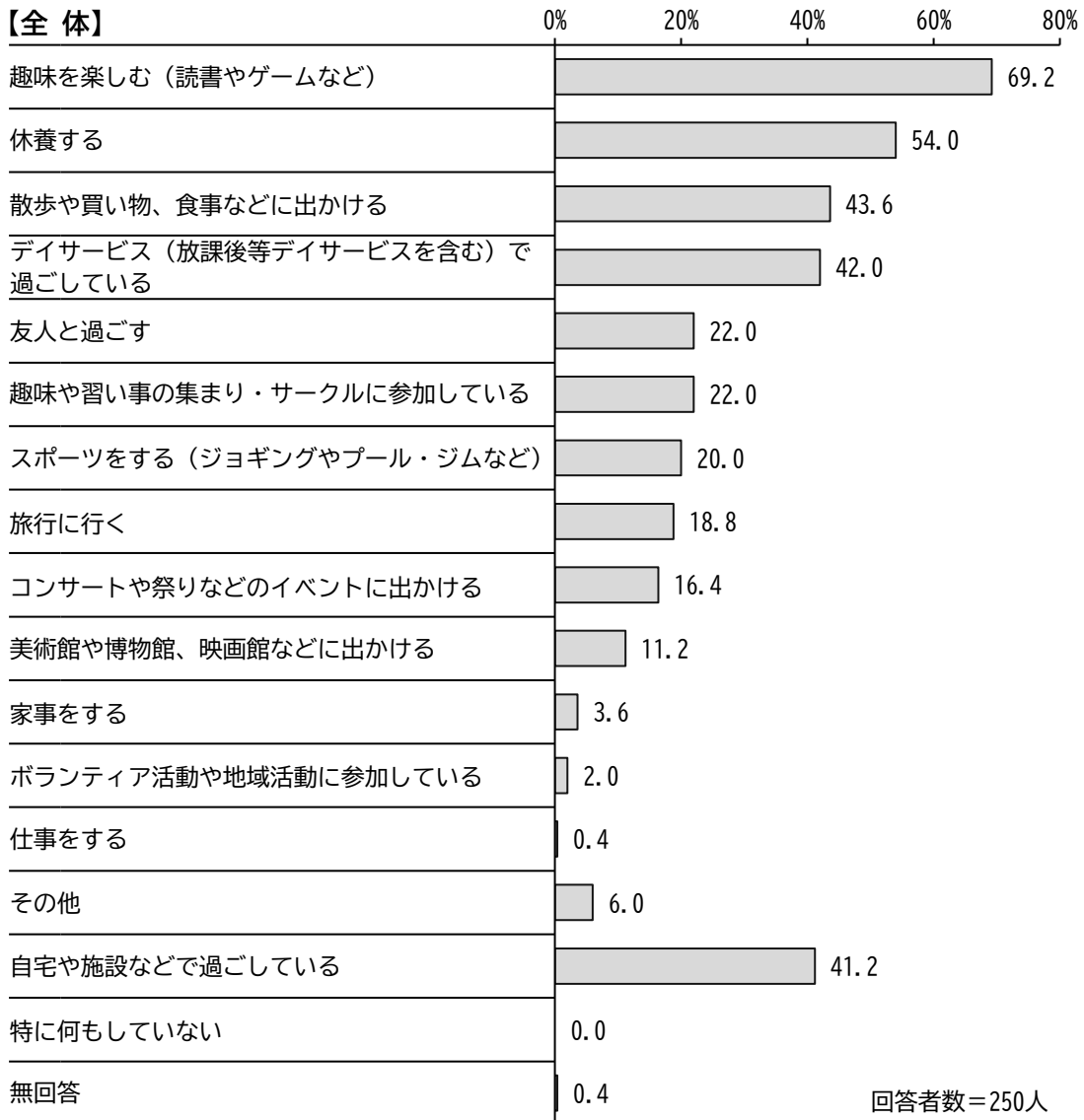
		回答者数	専門学校・各種学校	自宅で過ごしている	入所施設で過ごしている	働いている	その他	無回答
【全体】		250 100.0	0 0.0	2 0.8	1 0.4	0 0.0	2 0.8	0 0.0
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0
	13~15歳	18 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(3) 平日の夕方から夜や休日の過ごし方

問 13 お子さんは、平日の夕方から夜や休日、どのように過ごしていますか。
(〇はいくつでも)

POINT

- 【全 体】 趣味、休養、外出、デイサービスが4～6割台。
- 【年齢別】 年齢が高くなるにつれてデイサービス利用が増え、16～17歳で8割半ばとなっており、学齢期後半のニーズが高い。



【年齢別】 平日の夕方から夜や休日の過ごし方(クロス集計)

	回答者数	趣味を楽しむ (読書 やゲームなど)	休養する	散歩や買い物、食事 などに出かける	デイサービス(放課後等 デイサービスを含む)で 過ごす	友人と過ごす	趣味や習い事の集まり・サークルに参加 している	スポーツをする(ジ ョギングやプール・ ジムなど)	旅行に行く	コンサートや祭りな どのイベントに出か ける	
【全体】	250 100.0	173 69.2	135 54.0	109 43.6	105 42.0	55 22.0	55 22.0	50 20.0	47 18.8	41 16.4	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	64 70.3	47 51.6	49 53.8	7 7.7	16 17.6	17 18.7	10 11.0	21 23.1	16 17.6
	6~12歳	128 100.0	94 73.4	78 60.9	54 42.2	73 57.0	35 27.3	35 27.3	34 26.6	24 18.8	23 18.0
	13~15歳	18 100.0	11 61.1	6 33.3	3 16.7	14 77.8	2 11.1	0 0.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	4 30.8	4 30.8	3 23.1	11 84.6	2 15.4	3 23.1	3 23.1	2 15.4	2 15.4

	回答者数	美術館や博物館、映 画館などに出かける	家事をする	ボランティア活動や 地域活動に参加して いる	仕事をする	その他	自宅や施設などで過 ごしている	特に何もしていない	無回答	
【全体】	250 100.0	28 11.2	9 3.6	5 2.0	1 0.4	15 6.0	103 41.2	0 0.0	1 0.4	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	9 9.9	3 3.3	0 0.0	1 1.1	3 3.3	44 48.4	0 0.0	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	16 12.5	4 3.1	4 3.1	0 0.0	8 6.3	42 32.8	0 0.0	1 0.8
	13~15歳	18 100.0	1 5.6	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 66.7	0 0.0	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	4 30.8	5 38.5	0 0.0	0 0.0

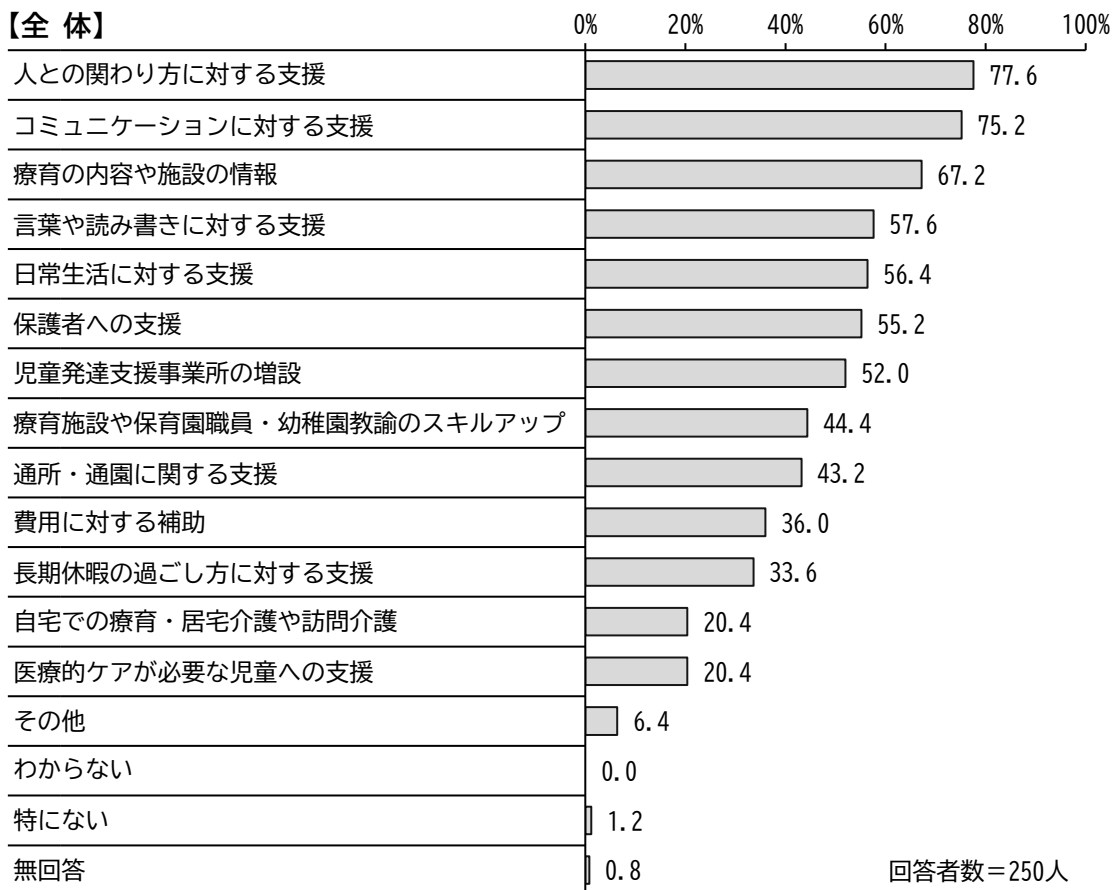
6. 児童の療育や支援について（問 14～問 15）

（1）就学前の療育や支援に求めること

問 14 あなたは、お子さんの就学前の療育や支援について充実させるべきだと思うことはありますか。（○はいくつでも）

POINT

- 【全 体】人との関わり方、コミュニケーションへの支援が最も高く7割台。多くの児童について共通する支援ニーズである。
- 【通園・通学状況別】就学前で通園・通学している児童は言葉や読み書きの支援、就学年齢で通学している児童については療育の情報を求めている割合が高い。



【通園・通学状況別】就学前の療育や支援に求めること(クロス集計)

	回答者数	人との関わり方に対する支援	コミュニケーションに対する支援	療育の内容や施設の情報	言葉や読み書きに対する支援	日常生活に対する支援	保護者への支援	児童発達支援事業所の増設	療育施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ	通所・通園に関する支援
【全体】	250 100.0	194 77.6	188 75.2	168 67.2	144 57.6	141 56.4	138 55.2	130 52.0	111 44.4	108 43.2
【通園・通学状況別】	就学前で通園・通学している	103 100.0	79 76.7	78 75.7	59 57.3	66 64.1	57 55.3	40 38.8	44 42.7	40 38.8
	就学年齢で通学している	142 100.0	111 78.2	105 73.9	106 74.6	74 52.1	82 57.7	85 59.9	65 45.8	67 47.2
	通園・通学していない	5 100.0	4 80.0	5 100.0	3 60.0	4 80.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0

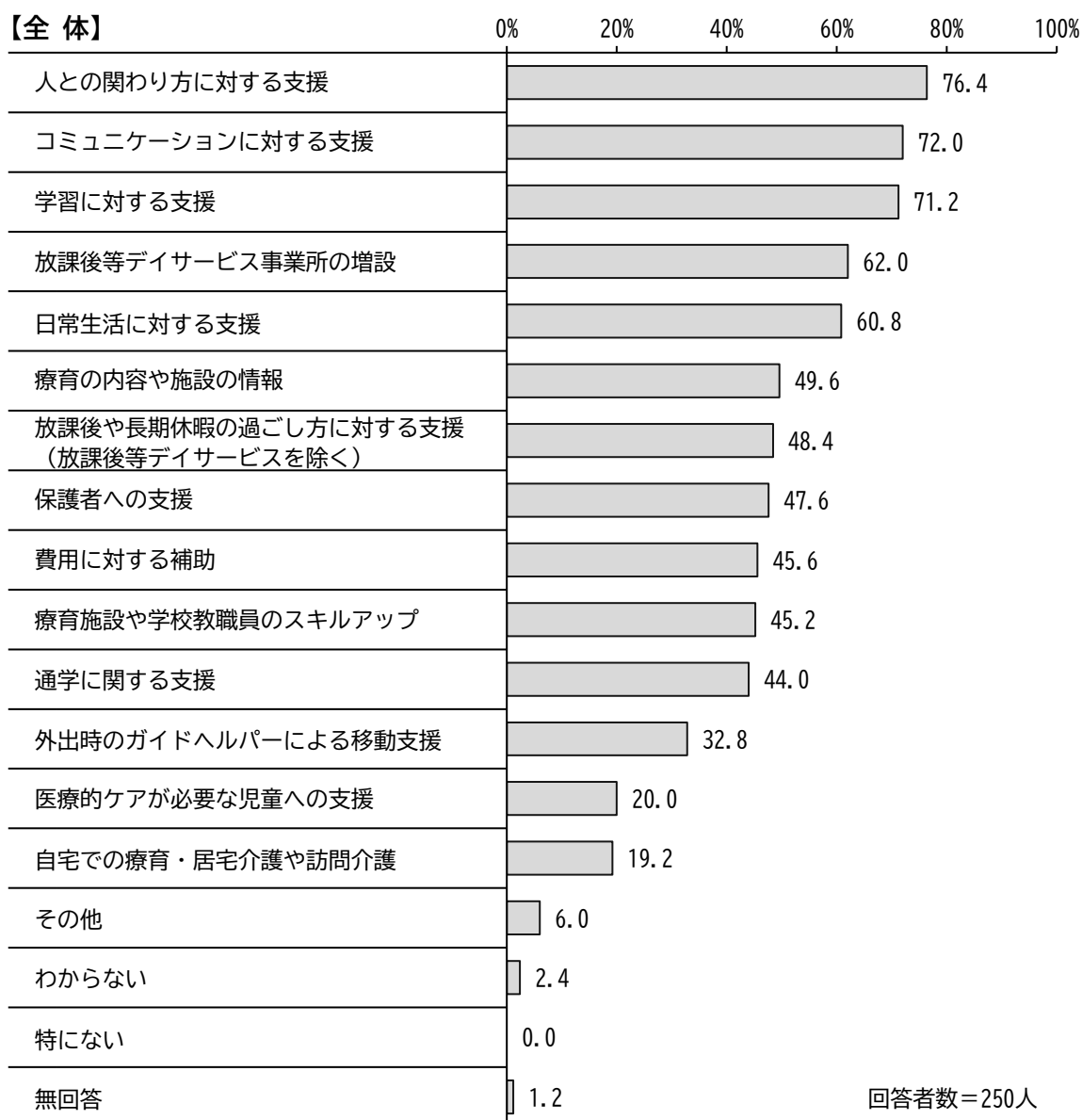
	回答者数	費用に対する補助	長期休暇の過ごし方に対する支援	自宅での療育・居宅介護や訪問介護	医療的ケアが必要な児童への支援	その他	わからない	特になし	無回答
【全体】	250 100.0	90 36.0	84 33.6	51 20.4	51 20.4	16 6.4	0 0.0	3 1.2	2 0.8
【通園・通学状況別】	就学前で通園・通学している	103 100.0	35 34.0	28 27.2	14 13.6	20 19.4	7 6.8	0 0.0	1 1.0
	就学年齢で通学している	142 100.0	54 38.0	55 38.7	36 25.4	31 21.8	9 6.3	0 0.0	2 1.4
	通園・通学していない	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(2) 就学中の療育や支援に求めること

問 15 あなたは、お子さんの就学中の療育や支援について充実させるべきだと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

POINT

- 【全 体】人との関わり方、コミュニケーション、学習への支援が高く7割台。多くの児童について共通する支援ニーズである。
- 【通園・通学状況別】就学の有無を問わず、通園・通学している児童については、放課後等デイサービスの増設や日常生活についてのニーズも高い。



【通園・通学状況別】就学中の療育や支援に求めること(クロス集計)

	回答者数	人との関わり方に対する支援	コミュニケーションに対する支援	学習に対する支援	放課後等デイサービス業所の増設	日常生活に対する支援	療育の内容や施設の情報	放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援(放課後等デイサービスを除く)	保護者への支援	費用に対する補助
【全体】	250 100.0	191 76.4	180 72.0	178 71.2	155 62.0	152 60.8	124 49.6	121 48.4	119 47.6	114 45.6
【通園・通学状況別】	就学前で通園・通学している	103 100.0	77 74.8	69 67.0	74 71.8	51 49.5	59 57.3	43 41.7	44 42.7	45 43.7
	就学年齢で通学している	142 100.0	111 78.2	106 74.6	100 70.4	102 71.8	92 64.8	77 54.2	72 50.7	66 46.5
	通園・通学していない	5 100.0	3 60.0	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	3 60.0

	回答者数	療育施設や学校教職員のスキルアップ	通学に関する支援	外出時のガイドヘルパーによる移動支援	医療的ケアが必要な児童への支援	自宅での療育・居宅介護や訪問介護	その他	わからない	特になし	無回答	
【全体】	250 100.0	113 45.2	110 44.0	82 32.8	50 20.0	48 19.2	15 6.0	6 2.4	0 0.0	3 1.2	
【通園・通学状況別】	就学前で通園・通学している	103 100.0	41 39.8	47 45.6	21 20.4	23 22.3	16 15.5	3 2.9	6 5.8	0 0.0	1 1.0
	就学年齢で通学している	142 100.0	70 49.3	61 43.0	60 42.3	27 19.0	32 22.5	12 8.5	0 0.0	0 0.0	2 1.4
	通園・通学していない	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

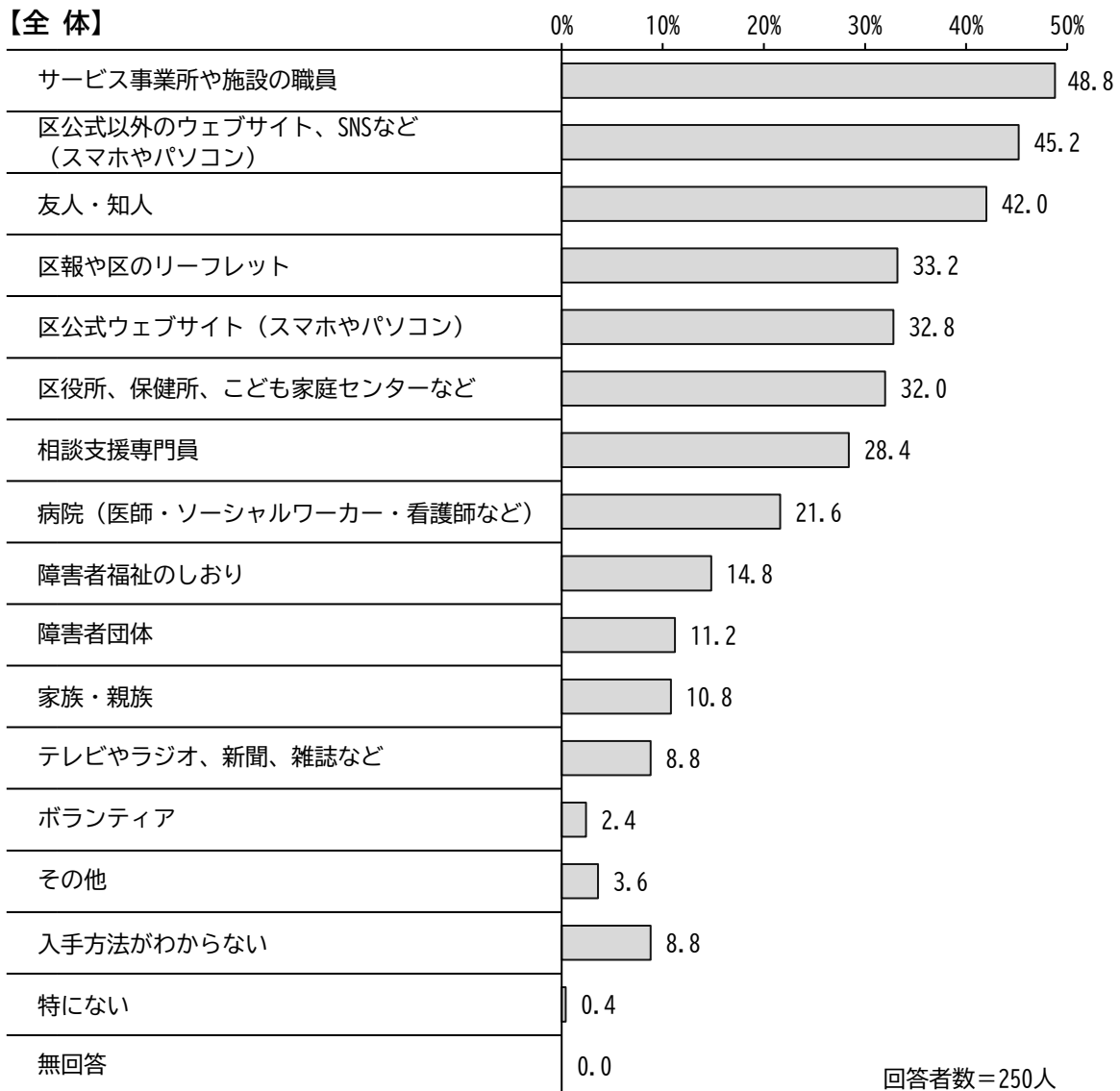
7. コミュニケーションや情報の入手方法について（問16～問17）

（1）サービスの情報収集先

問16 あなたは、発達に関する不安や障害等のこと、お子さんが使えるサービスのことについて、どのように（どこで）情報を得ていますか。（〇はいくつでも）

POINT

- 【全 体】 施設職員、ウェブサイト・SNS、友人・知人が上位でそれぞれ4割台。ウェブサイト・SNSで情報収集する割合が高く、オンライン上の情報が保護者の重要な情報源となっている。
- 【年齢別】 年齢が高くなるにつれて相談支援専門員から情報を得ている割合が高い。



【年齢別】サービスの情報収集先(クロス集計)

	回答者数	サービス事業所や施設の職員	区公式以外のウェブサイト、SNSなど(スマホやパソコン)	友人・知人	区報や区のリーフレット	区公式ウェブサイ ト(スマホやパソ コン)	区役所、保健所、こ ども家庭センター など	相談支援専門員	病院(医師・ソシヤ ルワーカー・看護師 など)	障害者福祉のしお り	
【全体】	250 100.0	<u>122</u> <u>48.8</u>	113 45.2	105 42.0	83 33.2	82 32.8	80 32.0	71 28.4	54 21.6	37 14.8	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	<u>45</u> <u>49.5</u>	41 45.1	27 29.7	27 29.7	28 30.8	38 41.8	14 15.4	15 16.5	5 5.5
	6~12歳	128 100.0	61 47.7	<u>65</u> <u>50.8</u>	58 45.3	45 35.2	48 37.5	34 26.6	36 28.1	32 25.0	23 18.0
	13~15歳	18 100.0	9 50.0	3 16.7	<u>12</u> <u>66.7</u>	7 38.9	3 16.7	3 16.7	10 55.6	4 22.2	4 22.2
	16~17歳	13 100.0	7 53.8	4 30.8	8 61.5	4 30.8	3 23.1	5 38.5	<u>11</u> <u>84.6</u>	3 23.1	5 38.5

	回答者数	障害者団体	家族・親族	テレビやラジオ、 新聞、雑誌など	ボランティア	その他	入手方法がわから ない	特 に ない	無 回 答	
【全体】	250 100.0	28 11.2	27 10.8	22 8.8	6 2.4	9 3.6	22 8.8	1 0.4	0 0.0	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	3 3.3	9 9.9	6 6.6	0 0.0	4 4.4	10 11.0	1 1.1	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	16 12.5	12 9.4	13 10.2	3 2.3	4 3.1	8 6.3	0 0.0	0 0.0
	13~15歳	18 100.0	3 16.7	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	0 0.0	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	6 46.2	3 23.1	2 15.4	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0

(2) ICT 機器・ツールの活用にあたり悩みや困っていること

問 17 お子さんの情報保障や意思疎通支援における障害特性に適した ICT 機器・ツール (★) の活用にあたり、悩みや困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

★ICT 機器・ツール

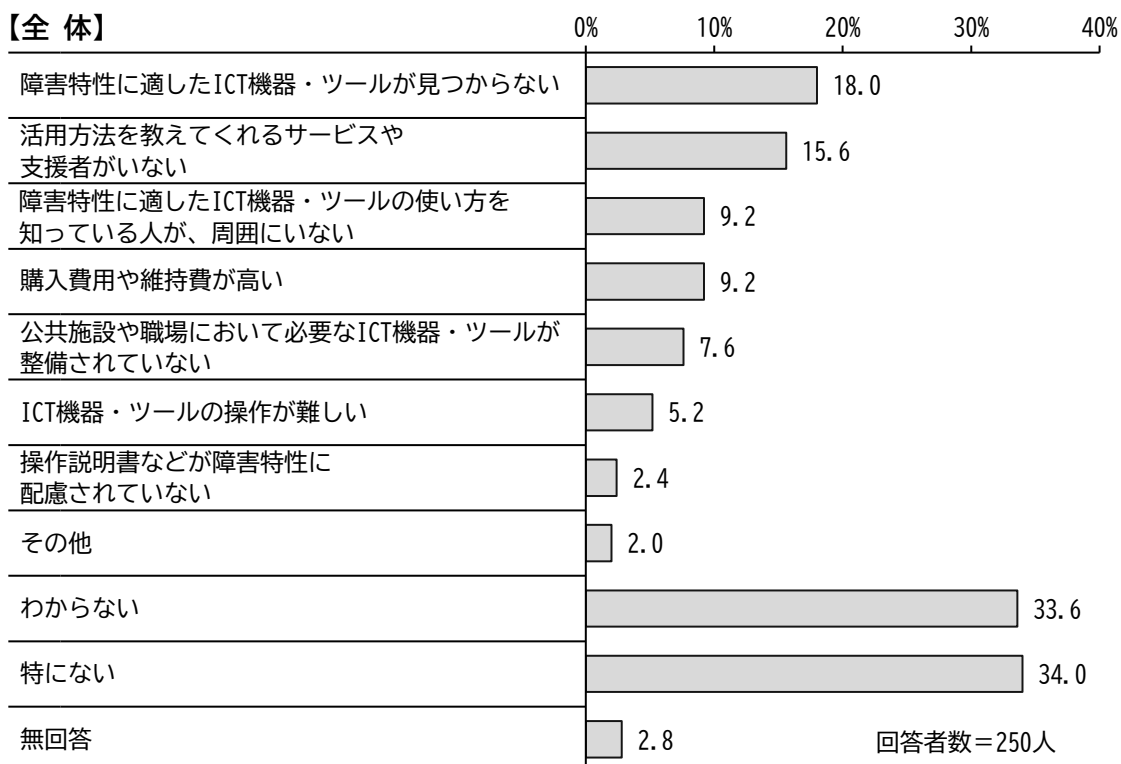
情報を得るために使用する機器や情報保障のためのアプリなど

(例) 聴覚支援：補聴器など

視覚支援：音声読み上げソフト、デイジーなど

POINT

- 【全 体】 適した機器が見つからない、活用方法を教えてくれる支援者がいないと回答した割合が高い。
- 【年齢別】 学校等で ICT を活用する機会が増える 6～12 歳で、活用方法を教えてくれるサービスや支援者がいないと回答した割合が高くなっている。



【年齢別】ICT 機器・ツールの活用にあたり悩みや困っていること(クロス集計)

		回答者数	障害特性に適したICT機器・ツールが見つからない	活用方法を教えてくれるサービスや支援者がいない	障害特性に適したICT機器・ツールの使い方を知らない人が、周囲にいない	購入費用や維持費が高い	整備されていない 必要なICT機器・ツールが	公共施設や職場においてICT機器・ツールの操作が難しい	操作説明書などが障害特性に配慮されていない	その他
【全体】		250 100.0	<u>45</u> <u>18.0</u>	39 15.6	23 9.2	23 9.2	19 7.6	13 5.2	6 2.4	5 2.0
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	<u>9</u> <u>9.9</u>	6 6.6	5 5.5	4 4.4	6 6.6	1 1.1	1 1.1	1 1.1
	6~12歳	128 100.0	30 23.4	<u>31</u> <u>24.2</u>	16 12.5	13 10.2	10 7.8	8 6.3	2 1.6	4 3.1
	13~15歳	18 100.0	<u>6</u> <u>33.3</u>	1 5.6	2 11.1	4 22.2	3 16.7	2 11.1	2 11.1	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	<u>2</u> <u>15.4</u>	0 0.0	<u>2</u> <u>15.4</u>	1 7.7	0 0.0

		回答者数	わからない	特にない	無回答
【全体】		250 100.0	84 33.6	85 34.0	7 2.8
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	37 40.7	35 38.5	2 2.2
	6~12歳	128 100.0	37 28.9	43 33.6	2 1.6
	13~15歳	18 100.0	5 27.8	4 22.2	2 11.1
	16~17歳	13 100.0	5 38.5	3 23.1	1 7.7

※「わからない」「特にない」を除く、第1位と第2位に網掛け・下線を加えている。

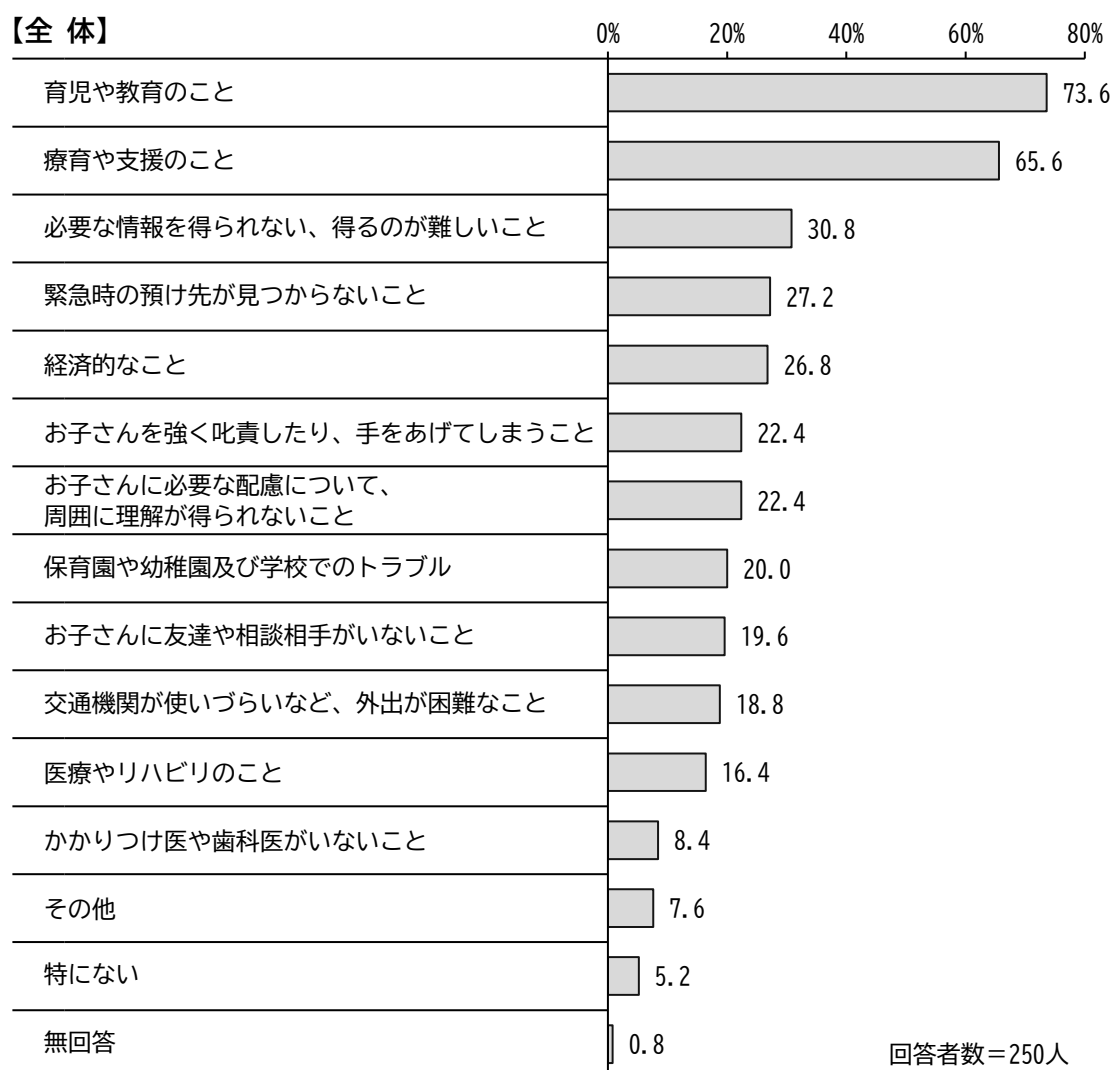
8. 相談について（問 18～問 19）

（1）児童のことで悩みや困ったこと

問 18 あなたは、お子さんのことで悩みや困ったことがありますか。（○はいくつでも）

POINT

- 【全 体】 悩みごとは育児・教育、療育・支援が上位で6～7割台。
- 【年齢別】 年齢が上がるにつれて情報入手、経済的負担や外出の困難さ、周囲の理解不足や保育園や幼稚園・学校でのトラブルなど生活全体に関わる悩みが増加。



【年齢別】児童のことで悩みや困ったこと(クロス集計)

	回答者数	育児や教育のこと	療育や支援のこと	必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	緊急時の預け先が見つからないこと	経済的なこと	お子さんを強く叱責したり、手をあげてしまうこと	お子さんに必要な配慮について、周囲に理解が得られないこと	保育園や幼稚園及び学校でのトラブル	
【全体】	250 100.0	<u>184</u> <u>73.6</u>	164 65.6	77 30.8	68 27.2	67 26.8	56 22.4	56 22.4	50 20.0	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	<u>73</u> <u>80.2</u>	60 65.9	24 26.4	20 22.0	19 20.9	15 16.5	13 14.3	15 16.5
	6~12歳	128 100.0	<u>98</u> <u>76.6</u>	86 67.2	40 31.3	37 28.9	35 27.3	35 27.3	32 25.0	27 21.1
	13~15歳	18 100.0	9 50.0	<u>11</u> <u>61.1</u>	7 38.9	6 33.3	8 44.4	1 5.6	7 38.9	4 22.2
	16~17歳	13 100.0	4 30.8	<u>7</u> <u>53.8</u>	6 46.2	5 38.5	5 38.5	5 38.5	4 30.8	4 30.8

	回答者数	お子さんに友達や相談相手がいらないこと	交通機関が使いづらいなど、外出が困難なこと	医療やリハビリのこと	かかりつけ医や歯科医がいらないこと	その他	特になし	無回答
【全体】	250 100.0	49 19.6	47 18.8	41 16.4	21 8.4	19 7.6	13 5.2	2 0.8
【年齢別】	0~5歳	10 11.0	14 15.4	8 8.8	6 6.6	6 6.6	7 7.7	2 2.2
	6~12歳	28 21.9	21 16.4	26 20.3	9 7.0	7 5.5	5 3.9	0 0.0
	13~15歳	6 33.3	7 38.9	6 33.3	3 16.7	4 22.2	1 5.6	0 0.0
	16~17歳	5 38.5	5 38.5	1 7.7	3 23.1	2 15.4	0 0.0	0 0.0

(2) 悩みや困ったことの相談先

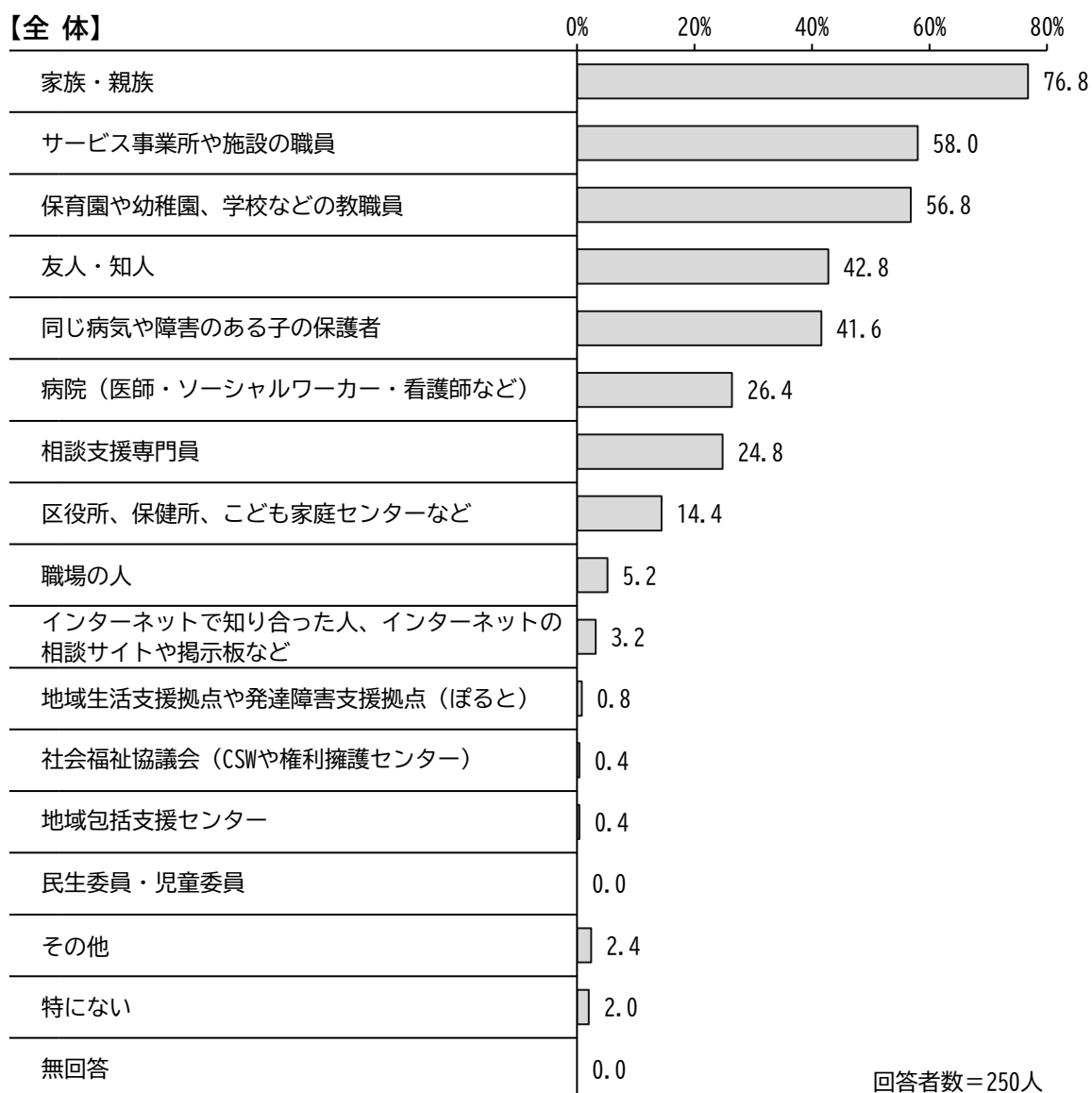
問 19 あなたが、お子さんのことで悩んだり困っているときに相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

★CSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）

障害、介護、子育てなど福祉の各分野の枠を超えた様々な課題に対応する地域福祉の専門職です。行政、民生・児童委員、社会福祉協議会などと協力し、支援につながらず困っている人や制度の狭間にいる人に寄り添った支援を行います。

POINT

- 【全 体】 家族・親族が最も高く8割近い。事業所・施設職員、教職員も高く5割台。
- 【年齢別】 年齢が上がるにつれて相談支援専門員や病院など専門的な相談先の割合が高い。



【年齢別】悩みや困ったことの相談先(クロス集計)

		回答者数	家族・親族	サービスの事業所や施設の職員	保育園や幼稚園、学校などの教職員	友人・知人	同じ病気や障害のある子の保護者	病院(医師・ソーシャルワーカー・看護師など)	相談支援専門員	区役所、保健所、こども家庭センターなど	職場の人
【全体】		250 100.0	<u>192</u> <u>76.8</u>	145 58.0	142 56.8	107 42.8	104 41.6	66 26.4	62 24.8	36 14.4	13 5.2
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	<u>77</u> <u>84.6</u>	54 59.3	58 63.7	35 38.5	24 26.4	20 22.0	11 12.1	16 17.6	6 6.6
	6～12歳	128 100.0	<u>94</u> <u>73.4</u>	75 58.6	66 51.6	55 43.0	62 48.4	36 28.1	34 26.6	11 8.6	6 4.7
	13～15歳	18 100.0	<u>15</u> <u>83.3</u>	8 44.4	10 55.6	11 61.1	11 61.1	5 27.8	6 33.3	3 16.7	0 0.0
	16～17歳	13 100.0	6 46.2	8 61.5	8 61.5	6 46.2	7 53.8	5 38.5	<u>11</u> <u>84.6</u>	6 46.2	1 7.7

		回答者数	インターネットで知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板など	地域生活支援拠点や発達障害支援拠点(ほると)	社会福祉協議会(CSW)や権利擁護センター	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	その他	特にない	無回答
【全体】		250 100.0	8 3.2	2 0.8	1 0.4	1 0.4	0 0.0	6 2.4	5 2.0	0 0.0
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	4 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0
	6～12歳	128 100.0	3 2.3	2 1.6	0 0.0	1 0.8	0 0.0	5 3.9	4 3.1	0 0.0
	13～15歳	18 100.0	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16～17歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

9. 福祉サービス等について（問 20～問 21）

（1）利用したい福祉サービス等

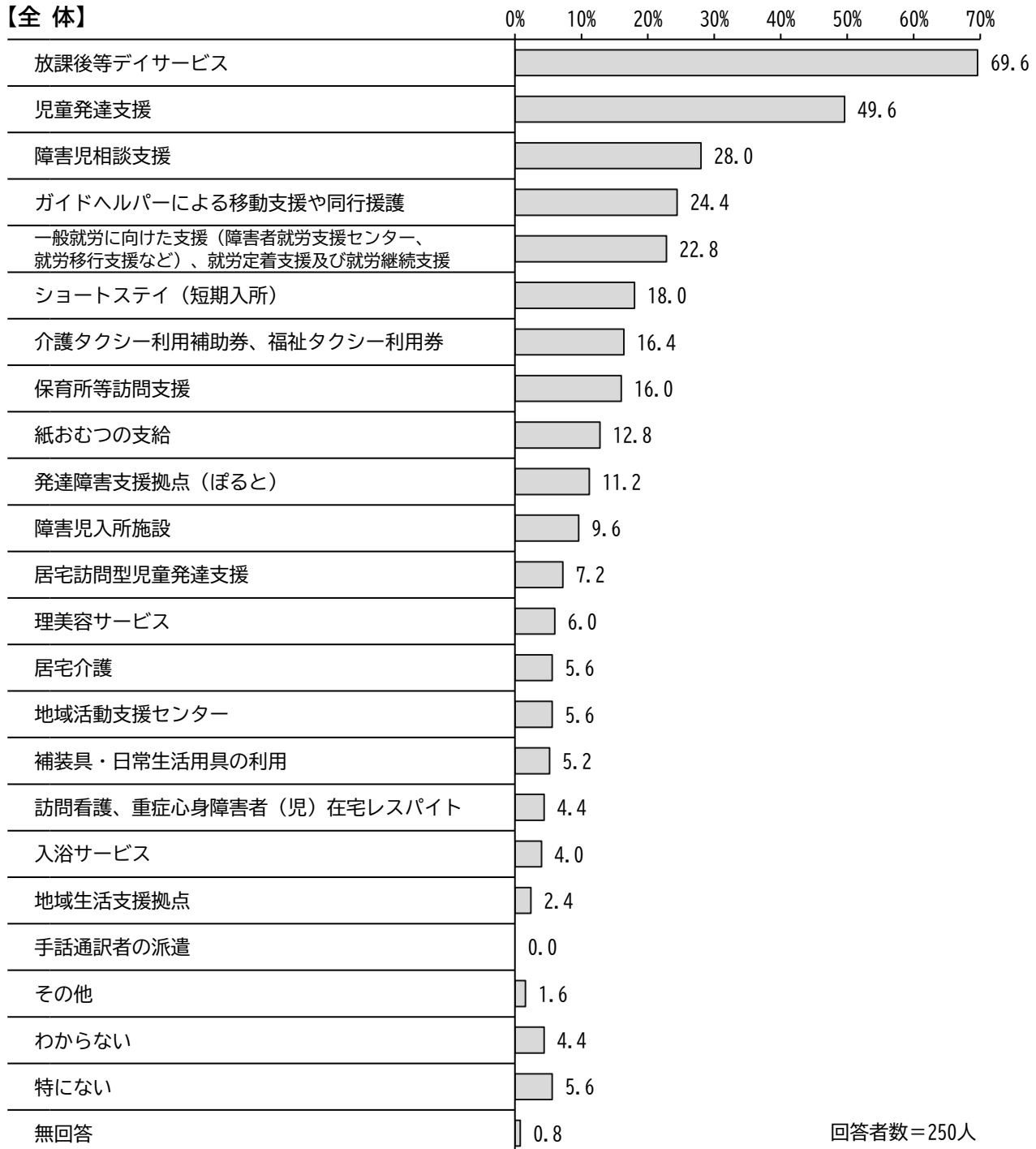
問 20 以下の福祉サービスの中で、利用したいサービス・場所はありますか。

（○はいくつでも）

POINT

- 【全 体】 放課後等デイサービスが最も高く7割。
- 【年齢別】 年齢が上がるにつれて移動支援、ショートステイなど生活の自立や次のライフステージに進むためのサービスへの関心が高い。

【全 体】



【年齢別】利用したい福祉サービス等(クロス集計)

		回答者数	放課後等デイサービス	児童発達支援	障害児相談支援	ガイドヘルパーによる移動支援や同行支援	一般就労に向けた支援、就労定着支援及び就労継続支援	シヨートステイ(短期入所)	介護タクシー利用補助券、福祉タクシー利用券	保育所等訪問支援	紙おむつの支給
【全体】		250 100.0	<u>174</u> 69.6	124 49.6	70 28.0	61 24.4	57 22.8	45 18.0	41 16.4	40 16.0	32 12.8
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	42 46.2	<u>69</u> 75.8	20 22.0	6 6.6	7 7.7	5 5.5	9 9.9	23 25.3	13 14.3
	6～12歳	128 100.0	<u>104</u> 81.3	51 39.8	38 29.7	37 28.9	31 24.2	24 18.8	23 18.0	15 11.7	15 11.7
	13～15歳	18 100.0	<u>17</u> 94.4	2 11.1	8 44.4	9 50.0	12 66.7	7 38.9	6 33.3	1 5.6	3 16.7
	16～17歳	13 100.0	<u>11</u> 84.6	2 15.4	4 30.8	9 69.2	7 53.8	9 69.2	3 23.1	1 7.7	1 7.7

		回答者数	発達障害支援拠点(ほると)	障害児入所施設	居宅訪問型児童発達支援	理美容サービス	居宅介護	地域活動支援センター	補装具・日常生活用具の利用	訪問看護、重症心身障害者(児)在宅レスパイト	入浴サービス
【全体】		250 100.0	28 11.2	24 9.6	18 7.2	15 6.0	14 5.6	14 5.6	13 5.2	11 4.4	10 4.0
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	10 11.0	3 3.3	6 6.6	2 2.2	3 3.3	5 5.5	4 4.4	3 3.3	1 1.1
	6～12歳	128 100.0	16 12.5	14 10.9	9 7.0	10 7.8	5 3.9	9 7.0	7 5.5	6 4.7	5 3.9
	13～15歳	18 100.0	1 5.6	3 16.7	2 11.1	2 11.1	4 22.2	0 0.0	2 11.1	2 11.1	3 16.7
	16～17歳	13 100.0	1 7.7	4 30.8	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7

		回答者数	拠点地域生活支援	派遣手話通訳者の	その他	わからない	特にな	無回答
【全体】		250 100.0	6 2.4	0 0.0	4 1.6	11 4.4	14 5.6	2 0.8
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	2 2.2	0 0.0	2 2.2	8 8.8	8 8.8	0 0.0
	6～12歳	128 100.0	3 2.3	0 0.0	1 0.8	3 2.3	6 4.7	2 1.6
	13～15歳	18 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16～17歳	13 100.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

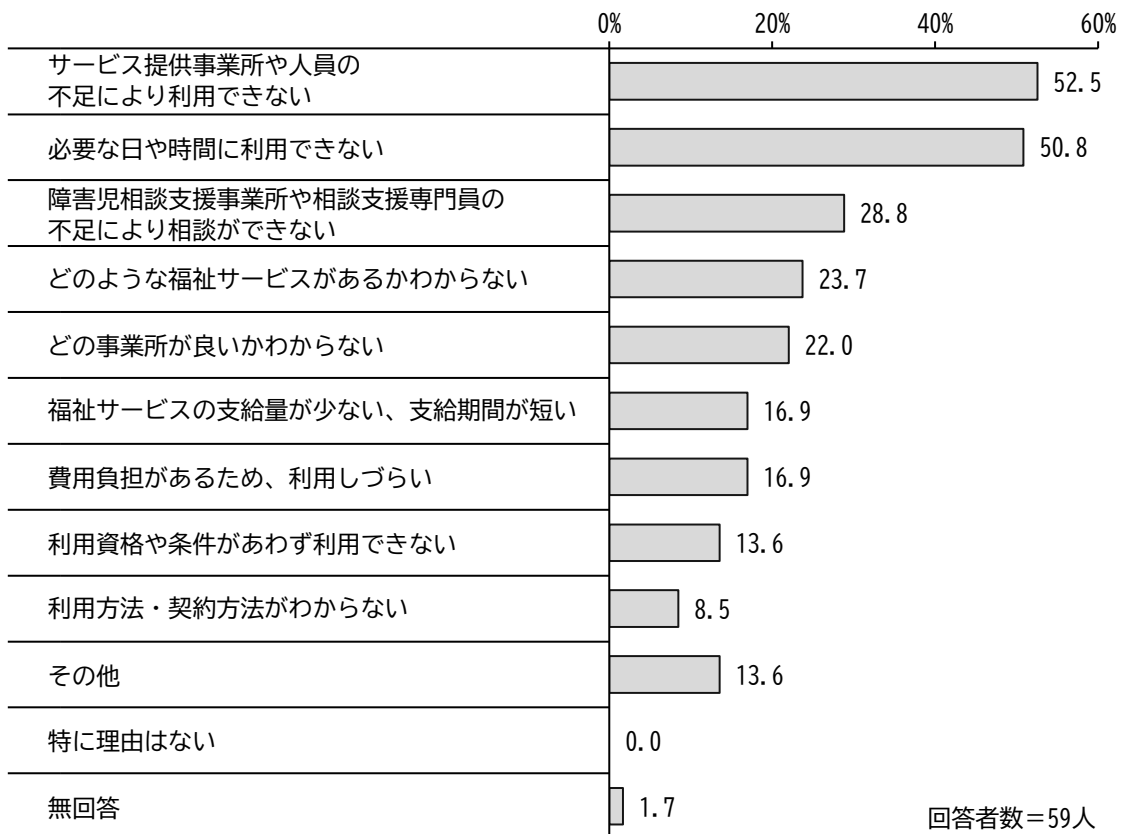
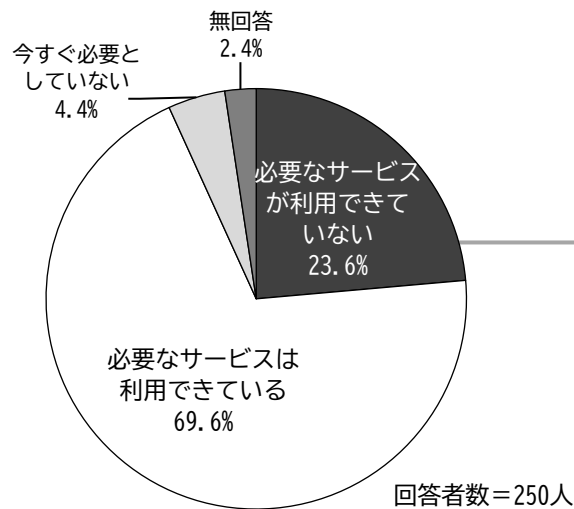
(2) 必要なサービスの利用状況

問 21 お子さんは現在、必要なサービスを利用できていますか。利用できていない場合は、どうして利用できていないか回答してください。(〇はいくつでも)

POINT

- 【全 体】 7割が必要なサービスは利用できている。一方、利用できていない理由として、事業所や人員の不足、必要な日・時間に利用できないが5割台と高い。

【全 体】



【年齢別】必要なサービスの利用状況(クロス集計)

		回答者数	必要なサービス は利用できてい る	今すぐ必要とし ていない	必要なサービス が利用できてい ない	無回答
【全体】		250 100.0	<u>174</u> <u>69.6</u>	11 4.4	59 23.6	6 2.4
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	<u>69</u> <u>75.8</u>	6 6.6	13 14.3	3 3.3
	6～12歳	128 100.0	<u>84</u> <u>65.6</u>	4 3.1	37 28.9	3 2.3
	13～15歳	18 100.0	<u>14</u> <u>77.8</u>	0 0.0	4 22.2	0 0.0
	16～17歳	13 100.0	<u>7</u> <u>53.8</u>	1 7.7	5 38.5	0 0.0

【年齢別】必要なサービスが利用できていない理由(クロス集計)

		回答者数	サービス提供事業 所や人員の不足に より利用できない	必要な日や時間 に利用できない	障害児相談支援事業 所や相談支援専門員 の不足により相談が できない	どのような福祉サ ービスがあるかわ からない	どの事業所が良い かわからない	福祉サービスの支 給量が少ない、支 給期間が短い	費用負担があるた め、利用しづらい	利用資格や条件が あわず利用できな い	利用方法・契約方 法がわからない
【全体】		59 100.0	<u>31</u> <u>52.5</u>	30 50.8	17 28.8	14 23.7	13 22.0	10 16.9	10 16.9	8 13.6	5 8.5
【年齢別】	0～5歳	13 100.0	3 23.1	<u>6</u> <u>46.2</u>	4 30.8	4 30.8	4 30.8	2 15.4	1 7.7	4 30.8	2 15.4
	6～12歳	37 100.0	<u>24</u> <u>64.9</u>	19 51.4	10 27.0	6 16.2	7 18.9	6 16.2	5 13.5	2 5.4	2 5.4
	13～15歳	4 100.0	2 50.0	<u>3</u> <u>75.0</u>	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	16～17歳	5 100.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0	1 20.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0	1 20.0

		回答者数	その他	特に理由はない	無回答
【全体】		59 100.0	8 13.6	0 0.0	1 1.7
【年齢別】	0～5歳	13 100.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0
	6～12歳	37 100.0	5 13.5	0 0.0	1 2.7
	13～15歳	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16～17歳	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

10. 災害への備えと災害時の対応について（問22～問23）

（1）災害が起きたときに備えて準備しているもの

問22 あなたは、災害が起きたときに備えて準備しているものはありますか。

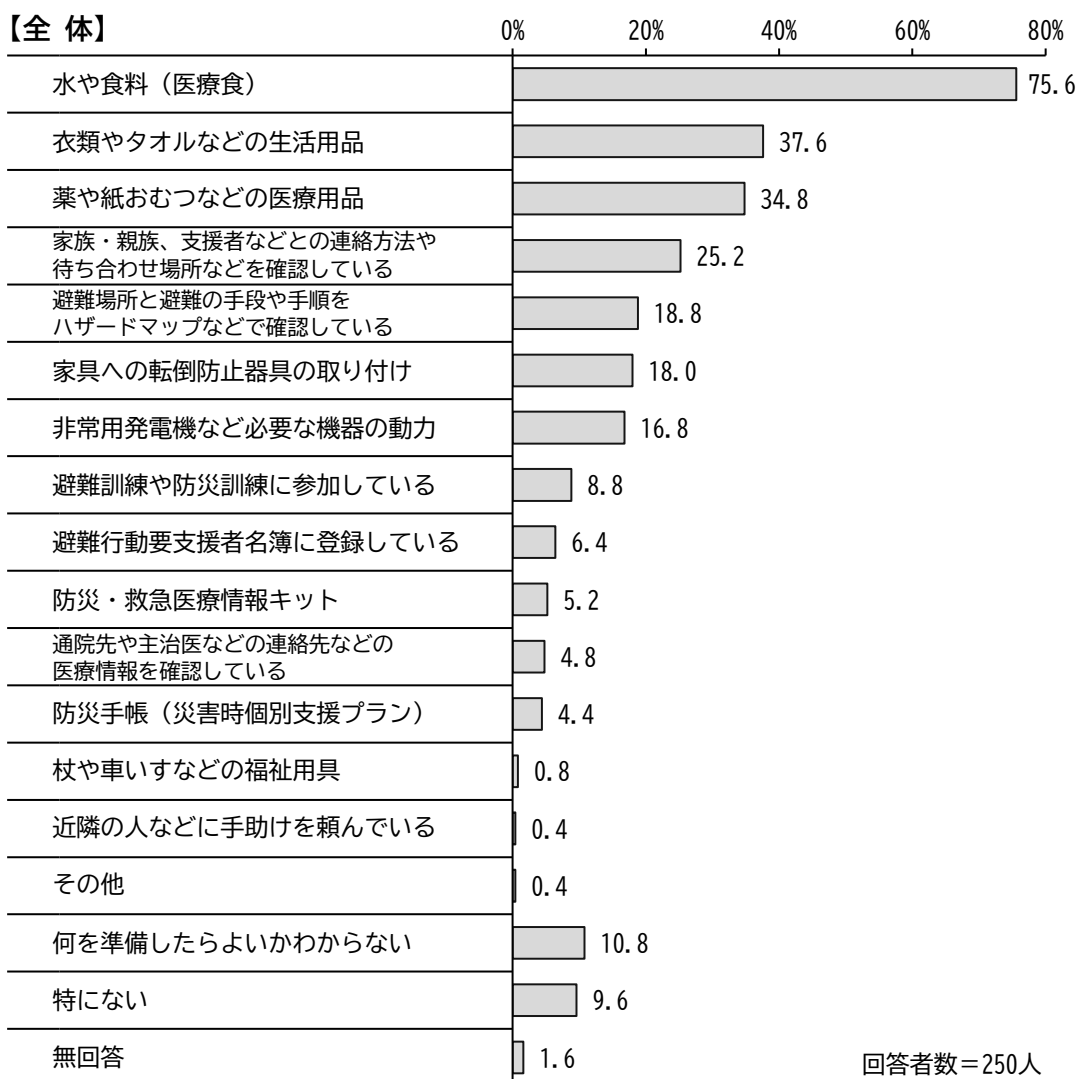
（○はいくつでも）

★避難行動要支援者名簿

災害対策基本法に基づき、災害が起こったときに、自力で避難することが困難な方の「名簿」を作成し、災害時の安否確認や避難支援を行います。一定の要件の方は自動で登録されるほか、希望により名簿に登録することも可能です。

POINT

- 【全体】7割半ばが水や食料を備え、生活用品や医療用品の準備も3割台。一方、避難行動要支援者名簿の登録、医療情報の確認、防災手帳（個別支援プラン）など、個別の備えは1割未満。
- 【年齢別】年齢で大きな差はなく、「物はあるけれど動けない」状況に陥るリスクが共通している。



【年齢別】災害が起きたときに備えて準備しているもの(クロス集計)

		回答者数	水や食料(医療食)	衣類やタオルなどの生活用品	薬や紙おむつなどの医療用品	家族・親族、支援者などの連絡方法や待ち合わせ場所などを確認している	避難場所と避難の手段や手順をハザードマップなどで確認している	家具への転倒防止器具の取り付け	非常用発電機など必要な機器の動力	避難訓練や防災訓練に参加している	避難行動要支援者名簿に登録している
【全体】		250 100.0	<u>189</u> <u>75.6</u>	94 37.6	87 34.8	63 25.2	47 18.8	45 18.0	42 16.8	22 8.8	16 6.4
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	<u>68</u> <u>74.7</u>	37 40.7	34 37.4	25 27.5	18 19.8	12 13.2	12 13.2	13 14.3	3 3.3
	6~12歳	128 100.0	<u>99</u> <u>77.3</u>	44 34.4	41 32.0	32 25.0	27 21.1	27 21.1	24 18.8	8 6.3	8 6.3
	13~15歳	18 100.0	<u>11</u> <u>61.1</u>	6 33.3	6 33.3	2 11.1	2 11.1	2 11.1	4 22.2	0 0.0	1 5.6
	16~17歳	13 100.0	<u>11</u> <u>84.6</u>	7 53.8	6 46.2	4 30.8	0 0.0	4 30.8	2 15.4	1 7.7	4 30.8

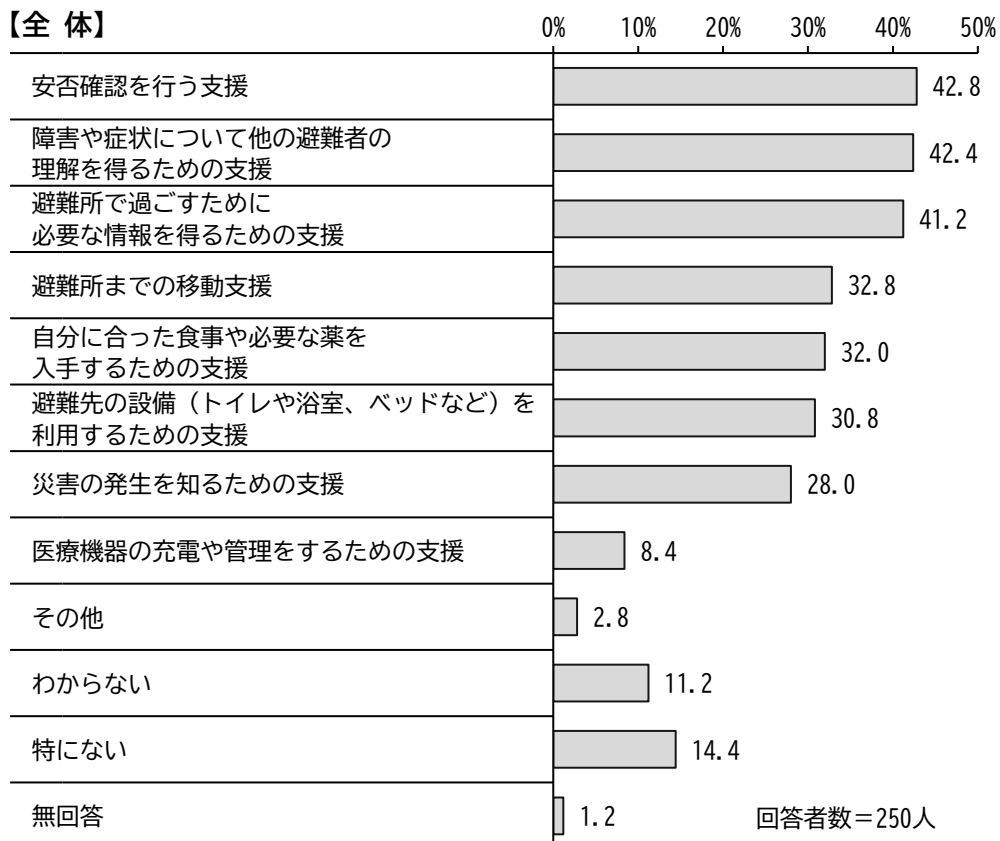
		回答者数	防災・救急医療情報キット	通院先や主治医などの連絡先などの医療情報を確認している	防災手帳(災害時個別支援プラン)	杖や車いすなどの福祉用具	近隣の人などに手助けを頼んでいる	その他	何を準備したらよいかわからない	特になし	無回答
【全体】		250 100.0	13 5.2	12 4.8	11 4.4	2 0.8	1 0.4	1 0.4	27 10.8	24 9.6	4 1.6
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	5 5.5	3 3.3	2 2.2	1 1.1	1 1.1	0 0.0	13 14.3	7 7.7	0 0.0
	6~12歳	128 100.0	2 1.6	7 5.5	3 2.3	0 0.0	0 0.0	1 0.8	10 7.8	15 11.7	3 2.3
	13~15歳	18 100.0	1 5.6	1 5.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0	0 0.0	4 22.2	2 11.1	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	5 38.5	1 7.7	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7

(2) 災害時に必要な支援

問 23 あなたやお子さんは、災害発生時や避難所での生活においてどのような支援が必要ですか。(〇はいくつでも)

POINT

- 【全 体】避難所で必要とされる支援は安否確認、障害への理解、情報提供が上位で4割台。個別的な配慮よりも安否、理解、安心のための支援が高い。



【年齢別】災害時に必要な支援(クロス集計)

		回答者数	安否確認を行う支援	障害や症状についての他の避難者の理解を得るための支援	避難所で過ごすための必要な情報を得るための支援	避難所までの移動支援	自分に合った食事や必要薬を入手するための支援	避難先の設備(トイレや浴室、ベッドなど)を利用するための支援	災害の発生を知るための支援	医療機器の充電や管理をするための支援	その他
【全体】		250 100.0	<u>107</u> <u>42.8</u>	106 42.4	103 41.2	82 32.8	80 32.0	77 30.8	70 28.0	21 8.4	7 2.8
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	<u>34</u> <u>37.4</u>	23 25.3	31 34.1	25 27.5	19 20.9	20 22.0	22 24.2	9 9.9	3 3.3
	6~12歳	128 100.0	55 43.0	<u>63</u> <u>49.2</u>	52 40.6	41 32.0	42 32.8	44 34.4	35 27.3	9 7.0	4 3.1
	13~15歳	18 100.0	9 50.0	11 61.1	<u>12</u> <u>66.7</u>	11 61.1	10 55.6	9 50.0	7 38.9	3 16.7	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	<u>9</u> <u>69.2</u>	<u>9</u> <u>69.2</u>	8 61.5	5 38.5	<u>9</u> <u>69.2</u>	4 30.8	6 46.2	0 0.0	0 0.0

		回答者数	わからない	特にない	無回答
【全体】		250 100.0	28 11.2	36 14.4	3 1.2
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	18 19.8	14 15.4	1 1.1
	6~12歳	128 100.0	8 6.3	21 16.4	2 1.6
	13~15歳	18 100.0	2 11.1	1 5.6	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

1 1. 権利擁護について（問 24～問 27）

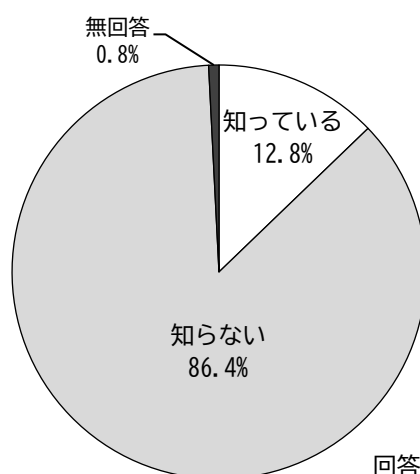
（1）「障害者虐待防止センター」の認知度

問 24 あなたは、区役所 2 階にある「障害者虐待防止センター」に相談や通報ができることを知っていますか。（○は 1 つ）

POINT

- 【全 体】「障害者虐待防止センター」の認知度は 1 割を超える程度で低い。センターについての情報が保護者に十分に届いていない。
- 【年齢別】特に 0～5 歳ではさらに低く 1 割未満。

【全 体】



回答者数=250人

【年齢別】「障害者虐待防止センター」の認知度(クロス集計)

		回答者数	知っている	知らない	無回答
【全 体】		250	32	<u>216</u>	2
		100.0	12.8	<u>86.4</u>	0.8
【年 齢 別】	0～5 歳	91	7	<u>84</u>	0
		100.0	7.7	<u>92.3</u>	0.0
	6～12 歳	128	20	<u>106</u>	2
		100.0	15.6	<u>82.8</u>	1.6
	13～15 歳	18	2	<u>16</u>	0
		100.0	11.1	<u>88.9</u>	0.0
	16～17 歳	13	3	<u>10</u>	0
		100.0	23.1	<u>76.9</u>	0.0

(2) 「成年後見制度」の認知度

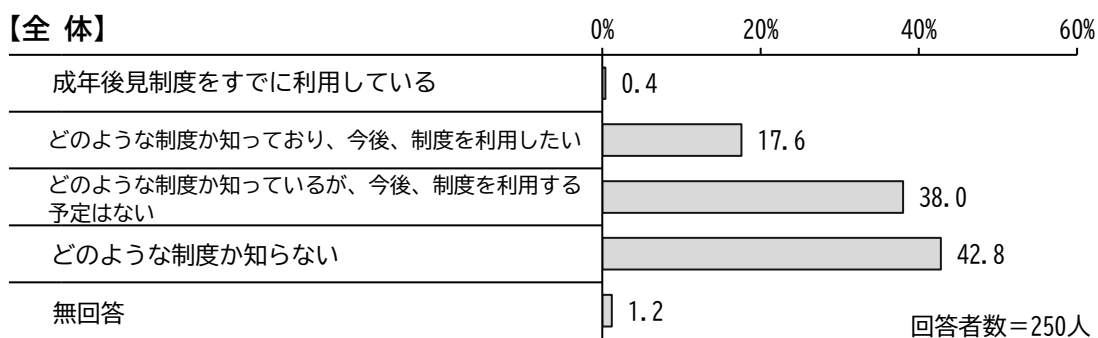
問 25 あなたは、「成年後見制度」(★)を知っていますか。または、利用したいですか。
(○は1つ)

★成年後見制度

精神上の障害（認知症、知的障害、精神障害など）により、不利益を被らないよう、自分ひとりで判断することが難しい方の権利を守る制度です。成年後見人などがこうした方の意思を尊重し、その人らしい生活を守るため、法律面や生活面で支援するしくみです。
具体的には、介護サービスや医療を受ける際の手続きの支援、預貯金の引き出しなど日常生活における金銭管理などの支援、財産管理の支援などがあります。

POINT

- 【全 体】「成年後見制度」の認知度は5割半ばと半数を超えるものの、実際の利用は0.4%とごくわずか。
- 【年齢別】15歳以下では認知・利用の関心がともに低い。



【年齢別】「成年後見制度」の認知度(クロス集計)

	回答者数	成年後見制度をすでに利用している	知っており、今後、制度を利用したい	知っているが、今後、制度を利用する予定はない	どのような制度か知らない	無回答	
【全 体】	250 100.0	1 0.4	44 17.6	95 38.0	<u>107</u> <u>42.8</u>	3 1.2	
【年齢別】	0~5歳	91 100.0	0 0.0	7 7.7	41 45.1	<u>42</u> <u>46.2</u>	1 1.1
	6~12歳	128 100.0	1 0.8	27 21.1	44 34.4	<u>54</u> <u>42.2</u>	2 1.6
	13~15歳	18 100.0	0 0.0	4 22.2	5 27.8	<u>9</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	16~17歳	13 100.0	0 0.0	<u>6</u> <u>46.2</u>	5 38.5	2 15.4	0 0.0

(3) 「障害者差別解消法」の認知度

問 26 あなたは、「障害者差別解消法」(★)を知っていますか。(○は1つ)

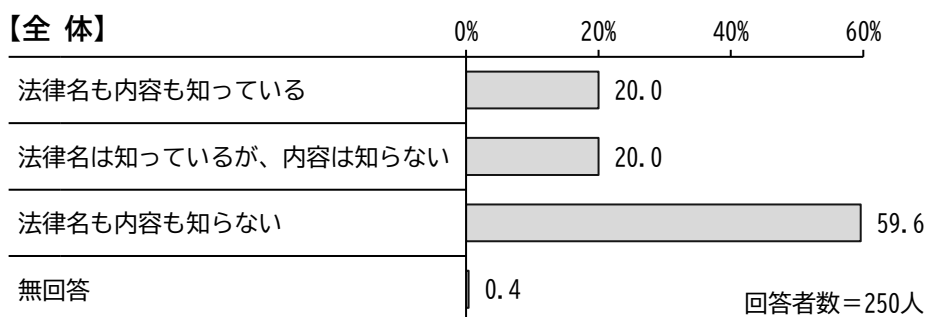
★障害者差別解消法

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした法律です。(平成 28 年 4 月施行)

「障害者差別解消法」では、障害者に対する「不当な差別的取り扱い」が禁止されるとともに、「合理的配慮の提供」が求められます。

POINT

- 【全 体】「障害者差別解消法」の認知度は4割。
- 【年齢別】0～5歳の保護者では法律名も内容も知らないが7割を超え、年齢によって認知度・内容理解に差がある。



【年齢別】「障害者差別解消法」の認知度(クロス集計)

	回答者数	認知度			無回答	
		法律名も内容も知っている	法律名は知っているが、内容は知らない	法律名も内容も知らない		
【全 体】	250 100.0	50 20.0	50 20.0	149 59.6	1 0.4	
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	11 12.1	15 16.5	65 71.4	0 0.0
	6～12歳	128 100.0	27 21.1	28 21.9	72 56.3	1 0.8
	13～15歳	18 100.0	7 38.9	2 11.1	9 50.0	0 0.0
	16～17歳	13 100.0	5 38.5	5 38.5	3 23.1	0 0.0

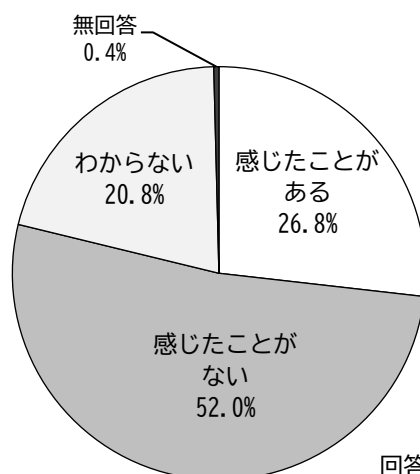
(4) 児童がこの3年間に差別をされたと感じたことの有無

問 27 あなたは、お子さんに関して、この3年間に差別をされたと感じたことがありますか。
(○は1つ)

POINT

- 【全 体】 3割近くが差別を感じたことがあると回答。
- 【年齢別】 13～15歳で感じたことがあるが高くなり、16～17歳になるとわからないが減少。

【全 体】



回答者数=250人

【年齢別】 児童がこの3年間に差別をされたと感じたことの有無(クロス集計)

		回答者数	感じたことがある	感じたことがない	わからない	無回答
【全 体】		250	67	<u>130</u>	52	1
		100.0	26.8	<u>52.0</u>	20.8	0.4
【年齢別】	0～5歳	91	16	<u>55</u>	20	0
		100.0	17.6	<u>60.4</u>	22.0	0.0
	6～12歳	128	38	<u>65</u>	24	1
		100.0	29.7	<u>50.8</u>	18.8	0.8
	13～15歳	18	<u>8</u>	4	6	0
	100.0	<u>44.4</u>	22.2	33.3	0.0	
	16～17歳	13	5	<u>6</u>	2	0
	100.0	38.5	<u>46.2</u>	15.4	0.0	

(5) 差別をされたと感じた内容

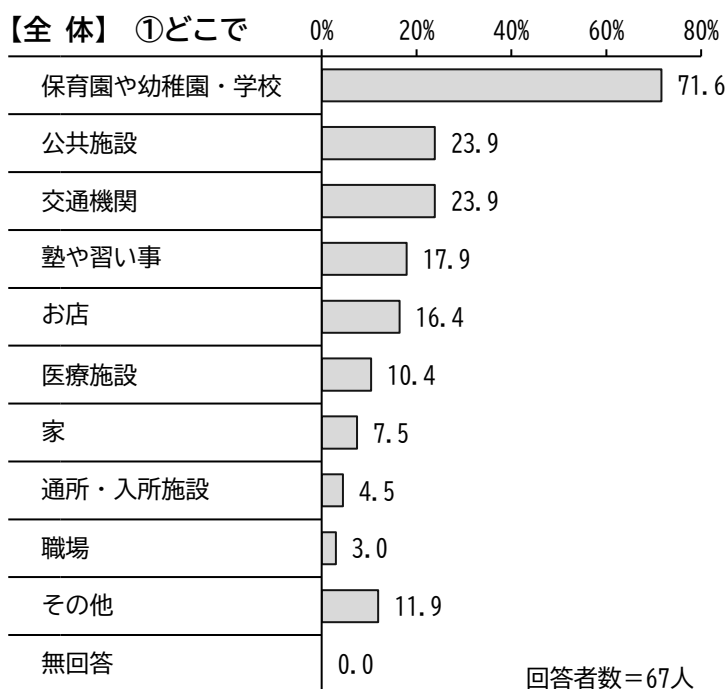
問 27 で 「感じたことがある」と回答された方

問 27-A ①どこで、②誰から、③どのような差別をされたと感じましたか。

(○はいくつでも)

POINT

- 【全 体】 差別を感じた場所として、保育園や幼稚園・学校が7割超えて、すべての年齢で最も高い。
- 【年齢別】 年齢が上がるにつれて差別を感じた場所は多様化し、保育園や幼稚園・学校の割合は減少。

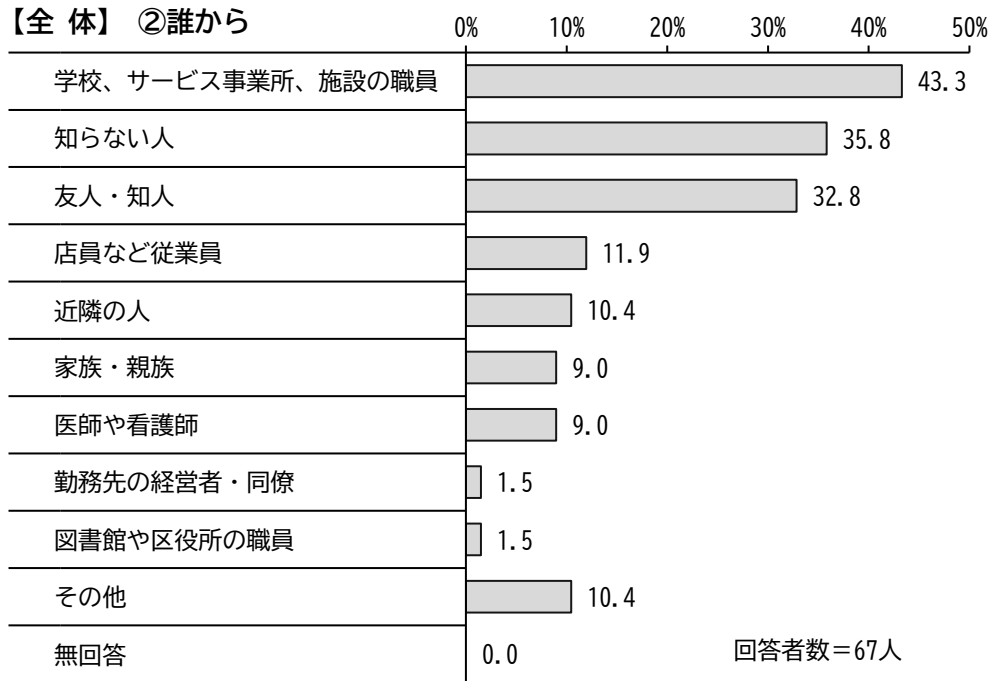


【年齢別】 ①どこで (クロス集計)

	回答者数	保育園・学校 幼稚園や 幼稚	公共施設	交通機関	塾や習い事	お店	医療施設	家	通所・入所施設	職場	その他	無回答	
【全 体】	67 100.0	<u>48</u> 71.6	16 23.9	16 23.9	12 17.9	11 16.4	7 10.4	5 7.5	3 4.5	2 3.0	8 11.9	0 0.0	
【年齢別】	0~5 歳	16 100.0	<u>12</u> 75.0	6 37.5	3 18.8	2 12.5	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	4 25.0	0 0.0	
	6~12 歳	38 100.0	<u>27</u> 71.1	4 10.5	8 21.1	7 18.4	5 13.2	2 5.3	2 5.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0	
	13~15 歳	8 100.0	<u>6</u> 75.0	3 37.5	4 50.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	16~17 歳	5 100.0	<u>3</u> 60.0	<u>3</u> 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0

POINT

- 【全 体】 差別を受けた相手として、学校・事業所・施設の職員が最も高く4割超え。
- 【年齢別】 関係性が広がるにつれて13歳以上では友人・知人や知らない人の割合も高い。

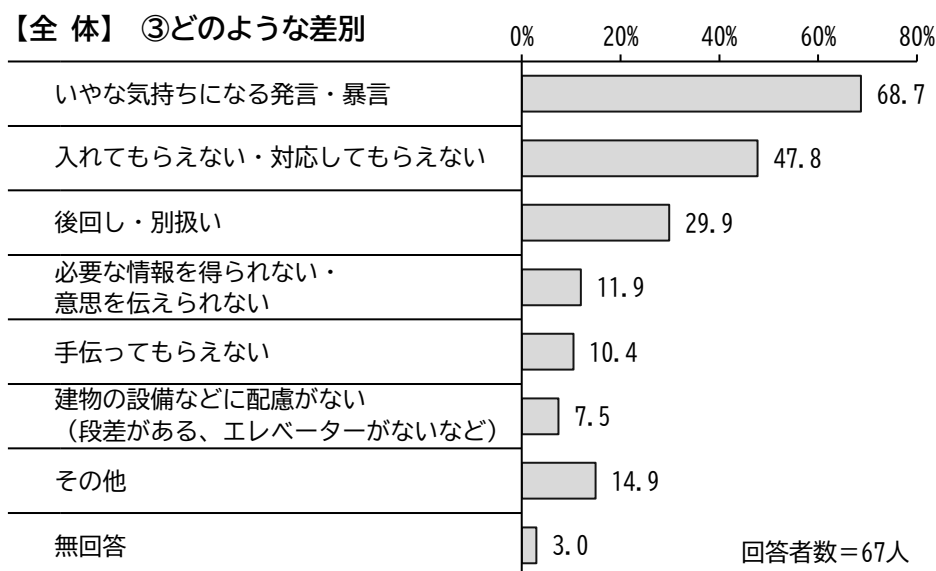


【年齢別】 ②誰から (クロス集計)

	回答者数	学校、サービス事業所、施設の職員	知らない人	友人・知人	店員など従業員	近隣の人	家族・親族	医師や看護師	勤務先の経営者・同僚	図書館や区役所の職員	その他	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
【全 体】	67	29	24	22	8	7	6	6	1	1	7	0	
	100.0	43.3	35.8	32.8	11.9	10.4	9.0	9.0	1.5	1.5	10.4	0.0	
【年齢別】	0~5歳	16	7	6	2	2	3	1	0	1	3	0	
		100.0	43.8	37.5	12.5	12.5	6.3	18.8	6.3	6.3	18.8	0.0	
	6~12歳	38	14	11	14	5	3	1	2	1	0	3	0
		100.0	36.8	28.9	36.8	13.2	7.9	2.6	5.3	2.6	0.0	7.9	0.0
13~15歳	8	4	4	5	1	2	1	3	0	0	0	0	
	100.0	50.0	50.0	62.5	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
16~17歳	5	4	3	1	0	1	1	0	0	0	1	0	
	100.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	

POINT

- 【全 体】差別の内容は、いやな気持ちになる発言・暴言が7割近く、年齢を問わず高い。
- 【年齢別】13～15歳では入れてもらえない・対応してもらえないと感じる経験が7割半ばと高く、16～17歳では情報が得られない、後回しにされるなど対応面も目立っている。



【年齢別】 ③どのような差別 (クロス集計)

	回答者数	いやな気持ちになる発言・暴言	入れてもらえない・対応してもらえない	後回し・別扱い	必要な情報を得られない・意思を伝えられない	手伝ってもらえない	建物の設備などに配慮がない (段差がある、エレベーターがないなど)	その他	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
【全 体】	67	46 68.7	32 47.8	20 29.9	8 11.9	7 10.4	5 7.5	10 14.9	2 3.0
【年齢別】	0～5歳	16 100.0	11 68.8	7 43.8	5 31.3	1 6.3	1 6.3	1 31.3	5 0.0
	6～12歳	38 100.0	26 68.4	18 47.4	10 26.3	2 5.3	4 10.5	2 5.3	5 13.2
	13～15歳	8 100.0	5 62.5	6 75.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0
	16～17歳	5 100.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(6) 差別をされたと感じたときの相談先

問 27 で「感じたことがある」と回答された方

問 27-B 差別をされたと感じたとき、誰またはどのようなところに相談しましたか。

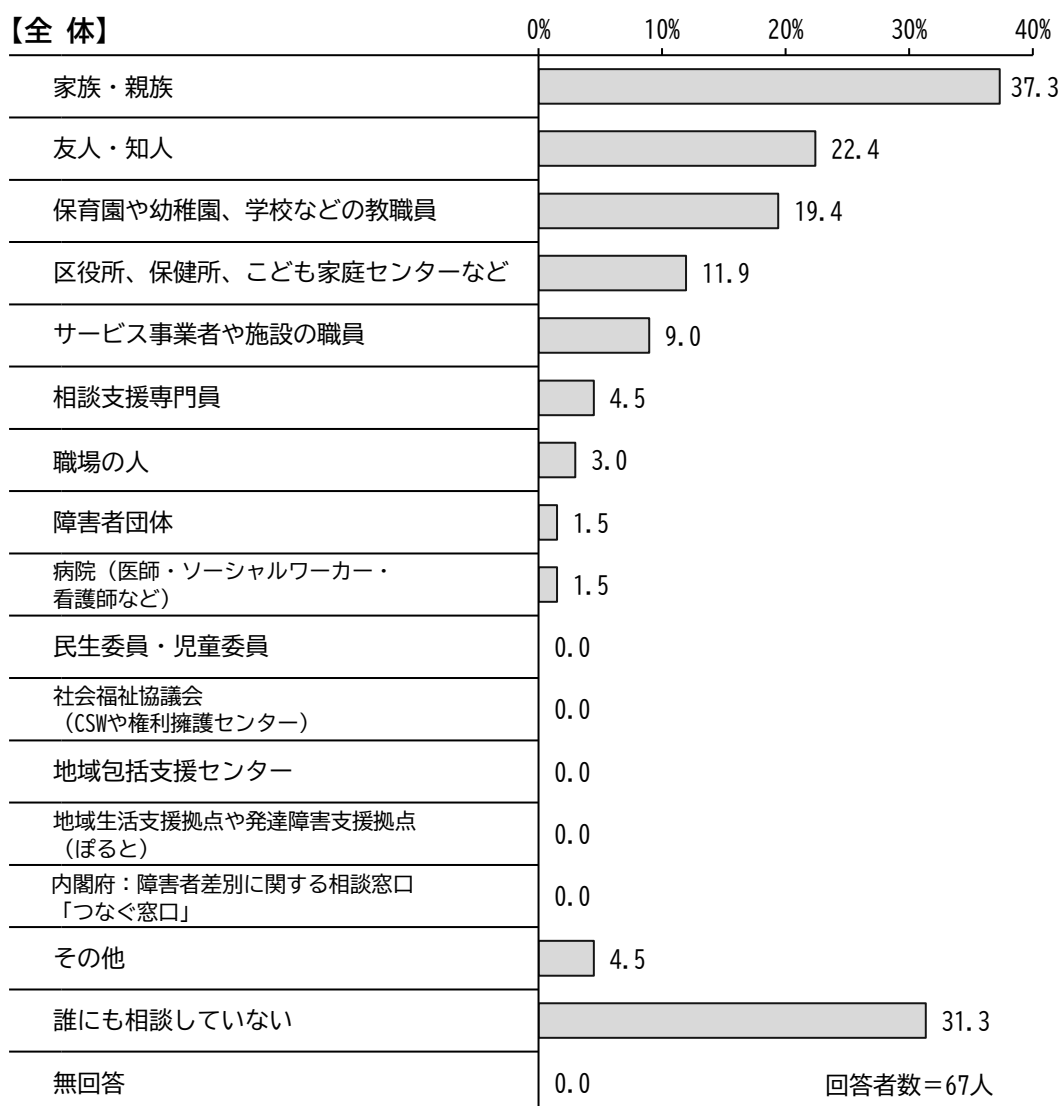
(○はいくつでも)

★内閣府：障害者差別に関する相談窓口「つなぐ窓口」

障害者差別解消法に関する質問に回答し、障害を理由とする差別に関する相談を適切な自治体や各府省庁の相談窓口へ円滑につなげることを目的とした内閣府の相談窓口です。適切な窓口へ導く役割を果たします。祝日・年末年始を除く毎日 10 時から 17 時まで電話相談、ほかメール相談もあります。

POINT

- 【全 体】差別を感じたときの相談先は、家族・親族が最も高く 4 割近い。誰にも相談していないは 3 割超えで、年齢を問わず高い。
- 【年齢別】年齢が上がるにつれて身近な家族・親族に相談する割合は減少。



【年齢別】差別をされたと感じたときの相談先(クロス集計)

		回答者数	家族・親族	友人・知人	保育園や幼稚園、学校などの教職員	区役所、保健所、こども家庭センターなど	サービス事業者や施設の職員	相談支援専門員	職場の人	障害者団体	病院(医師・ソーシャルワーカー・看護師など)
【全体】		67 100.0	25 37.3	15 22.4	13 19.4	8 11.9	6 9.0	3 4.5	2 3.0	1 1.5	1 1.5
【年齢別】	0~5歳	16 100.0	8 50.0	3 18.8	4 25.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	6~12歳	38 100.0	15 39.5	9 23.7	8 21.1	3 7.9	3 7.9	3 7.9	1 2.6	1 2.6	0 0.0
	13~15歳	8 100.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	16~17歳	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		回答者数	民生委員・児童委員	社会福祉協議会(CSWや権利擁護センター)	地域包括支援センター	地域生活支援拠点や発達障害支援拠点(ぼると)	内閣府・障害者差別に関する相談窓口「つながり窓口」	その他	誰にも相談していない	無回答
【全体】		67 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.5	21 31.3	0 0.0
【年齢別】	0~5歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	5 31.3	0 0.0
	6~12歳	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.3	13 34.2	0 0.0
	13~15歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	16~17歳	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

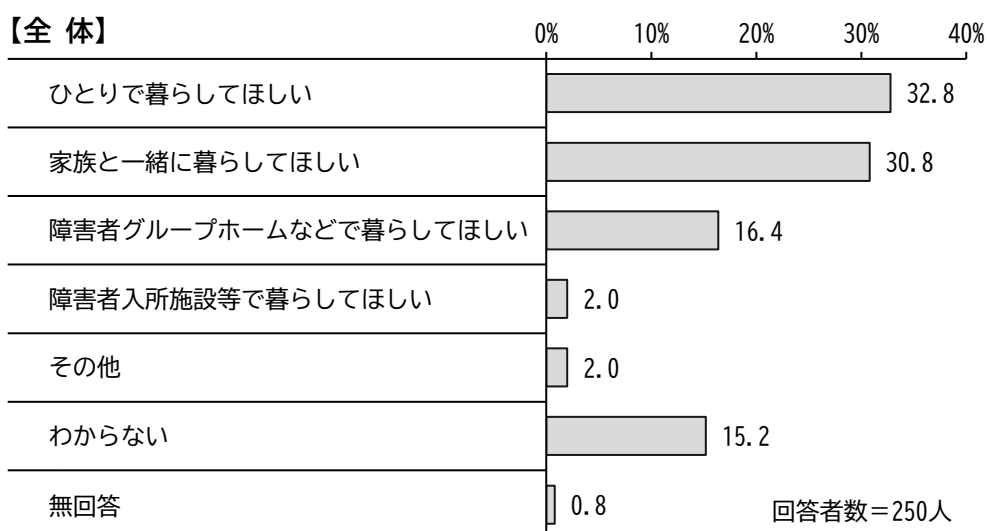
1 2. 児童の将来の暮らしについて（問 28～問 29）

（1）将来の暮らし方

問 28 あなたは、お子さんに将来どのように暮らしてほしいですか。（○は1つ）

POINT

- 【全 体】ひとりで暮らしてほしい、家族と一緒に暮らしてほしいが高く、3割超え。
- 【年齢別】年齢が上がるにつれて障害者グループホームなどで暮らしてほしいが増え、16～17歳では約7割。



【年齢別】将来の暮らし方(クロス集計)

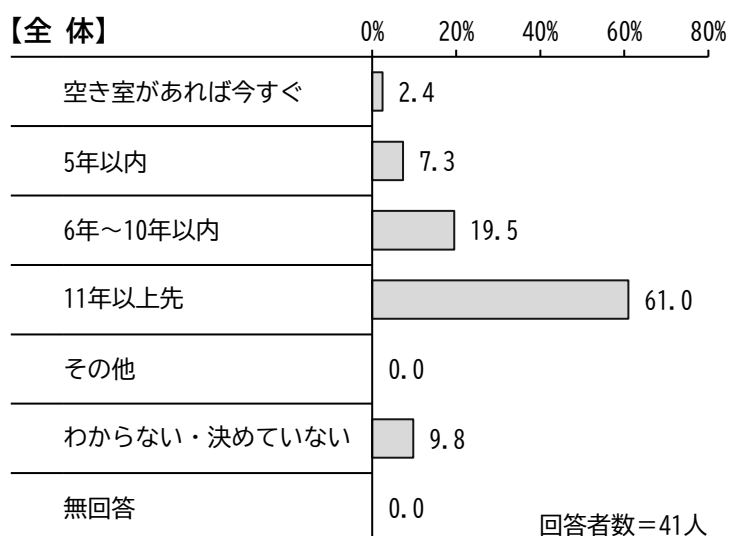
	回答者数	ほひとり	家族と	障害者	障害者	その他	わからない	無回答	
		りで暮らして	一緒に暮ら	グループホ	入所施設等				
【全 体】	250	<u>82</u>	77	41	5	5	38	2	
	100.0	<u>32.8</u>	30.8	16.4	2.0	2.0	15.2	0.8	
【年齢別】	0～5歳	91	<u>41</u>	31	2	2	15	0	
		100.0	<u>45.1</u>	34.1	2.2	0.0	2.2	16.5	0.0
	6～12歳	128	<u>38</u>	37	25	2	3	21	2
		100.0	<u>29.7</u>	28.9	19.5	1.6	2.3	16.4	1.6
	13～15歳	18	3	<u>5</u>	<u>5</u>	3	0	2	0
	100.0	16.7	<u>27.8</u>	<u>27.8</u>	16.7	0.0	11.1	0.0	
	16～17歳	13	0	4	<u>9</u>	0	0	0	0
	100.0	0.0	30.8	<u>69.2</u>	0.0	0.0	0.0	0.0	

(2) 障害者グループホームや福祉ホームに入居したい目安

問 28 で 「障害者グループホームなどで暮らしてほしい」と回答された方
 問 28-A あなたは、お子さんに障害者グループホームに何年以内を目安に入居してほしい
 ですか。(○は1つ)

POINT

- 【全 体】 11年以上先が6割超え。
- 【年齢別】 16～17歳では10年以内が7割近く、年齢が上がるにつれて入居を現実的に捉えている。



【年齢別】 障害者グループホームや福祉ホームに入居したい目安(クロス集計)

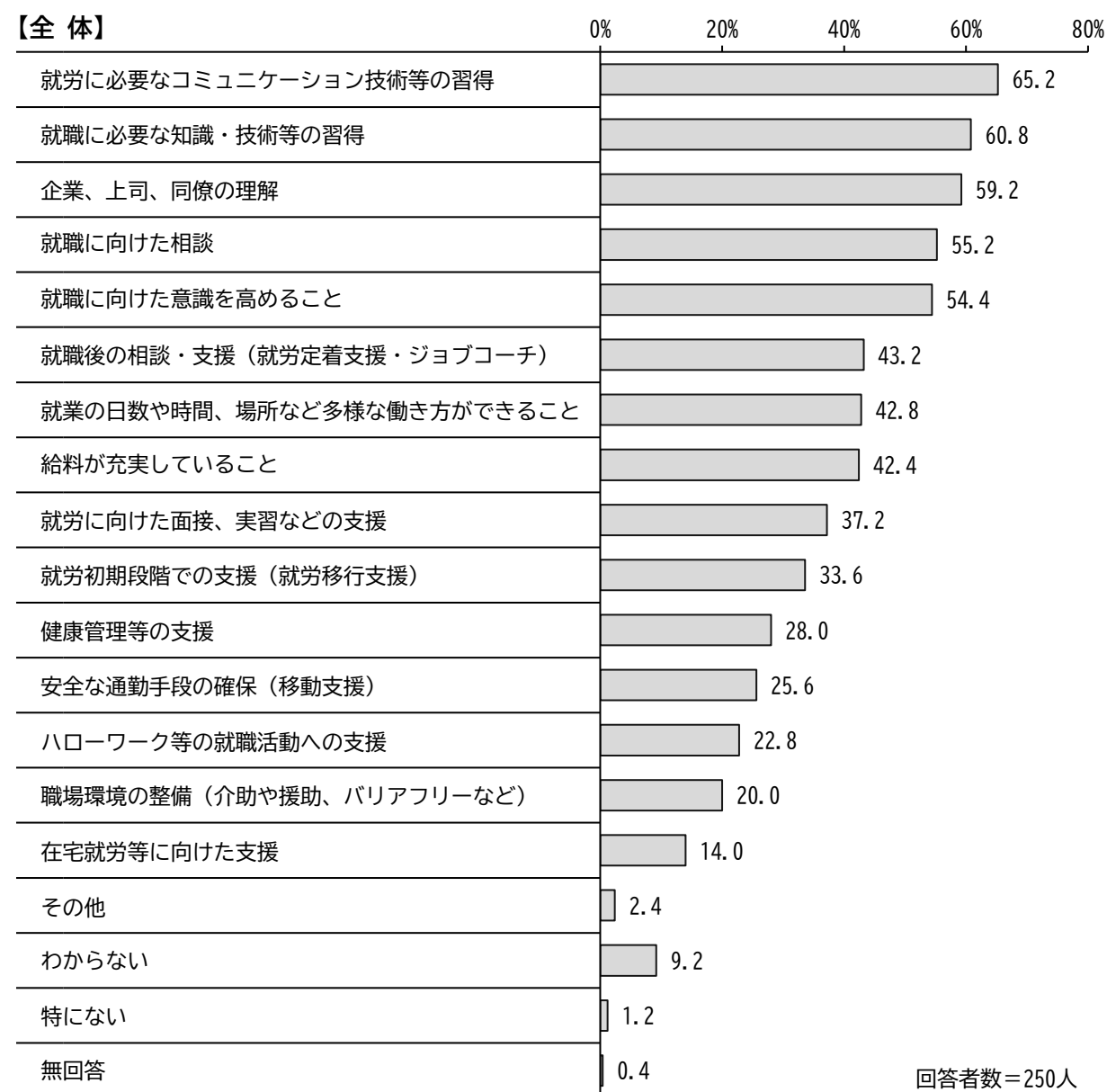
	回答者数	今すぐ	5年以内	6年～10年以内	11年以上先	その他	わからない・決めていない	無回答
		空き室があれば						
【全 体】	41	1	3	8	<u>25</u>	0	4	0
	100.0	2.4	7.3	19.5	<u>61.0</u>	0.0	9.8	0.0
【年齢別】	0～5歳	2	0	0	<u>1</u>	0	<u>1</u>	0
		100.0	0.0	0.0	<u>50.0</u>	0.0	<u>50.0</u>	0.0
	6～12歳	25	0	0	4	<u>19</u>	2	0
		100.0	0.0	0.0	16.0	<u>76.0</u>	0.0	8.0
	5	0	1	0	<u>3</u>	0	1	0
	100.0	0.0	20.0	0.0	<u>60.0</u>	0.0	20.0	0.0
	9	1	2	4	2	0	0	0
	100.0	11.1	22.2	<u>44.4</u>	22.2	0.0	0.0	0.0

(3) 将来仕事に就くために重要と思うこと

問 29 あなたが、お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。
(○はいくつでも)

POINT

- 【全 体】 コミュニケーション、知識・技術等の習得が高く6割台。
- 【年齢別】 年齢が高くなるにつれて就職に向けた意識や企業・上司等の理解を求める割合が高くなり、スキルの習得から本人の意識を高めることや職場環境を重視することに変化している。



【年齢別】将来仕事に就くために重要と思うこと(クロス集計)

	回答者数	就労に必要なコミュニケーション技術等の習得	就職に必要な知識・技術等の習得	企業、上司、同僚の理解	就職に向けた相談	就職に向けた意識を高めること	就職後の相談・支援(就労定着支援・ジョブコーチ)	就業の日数や時間、場所など多様な働き方ができること	給料が充実していること	就労に向けた面接、実習などの支援	就労初期段階での支援(就労移行支援)
【全体】	250 100.0	163 65.2	152 60.8	148 59.2	138 55.2	136 54.4	108 43.2	107 42.8	106 42.4	93 37.2	84 33.6
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	56 61.5	50 54.9	46 50.5	48 52.7	26 28.6	31 34.1	32 35.2	27 29.7	20 22.0
	6～12歳	128 100.0	91 71.1	88 68.8	81 63.3	74 57.8	68 53.1	65 50.8	61 47.7	55 43.0	49 38.3
	13～15歳	18 100.0	9 50.0	10 55.6	12 66.7	11 61.1	12 66.7	10 55.6	10 44.4	7 38.9	9 50.0
	16～17歳	13 100.0	7 53.8	4 30.8	9 69.2	5 38.5	8 61.5	7 53.8	6 46.2	5 38.5	4 30.8

	回答者数	健康管理等の支援	安全な通勤手段の確保(移動支援)	ハローワーク等の就職活動への支援	職場環境の整備(介助や援助、バリアフリーなど)	在宅就労等に向けた支援	その他	わからない	特にない	無回答	
【全体】	250 100.0	70 28.0	64 25.6	57 22.8	50 20.0	35 14.0	6 2.4	23 9.2	3 1.2	1 0.4	
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	23 25.3	15 16.5	22 24.2	9 9.9	11 12.1	3 3.3	12 13.2	2 2.2	0 0.0
	6～12歳	128 100.0	33 25.8	36 28.1	25 19.5	33 25.8	18 14.1	2 1.6	10 7.8	1 0.8	1 0.8
	13～15歳	18 100.0	8 44.4	8 44.4	6 33.3	5 27.8	3 16.7	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16～17歳	13 100.0	6 46.2	5 38.5	4 30.8	3 23.1	3 23.1	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0

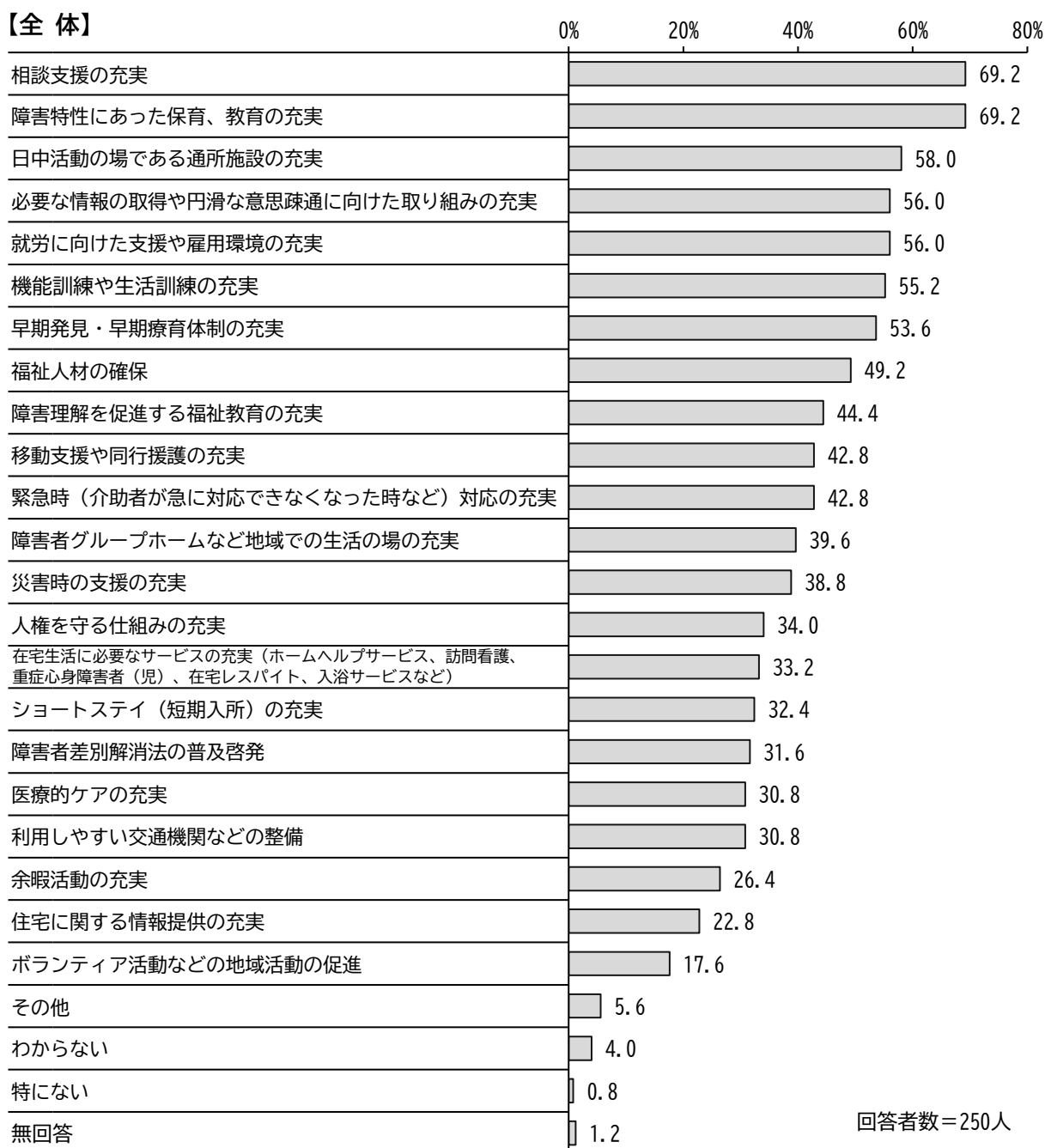
1 3. 障害福祉などの施策について（問 30）

（1）自立した生活を送るために、重要と思う取り組み

問 30 あなたは、障害のある人が、必要な支援を受けながら地域で自立した生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。（○はいくつでも）

POINT

- 【全 体】相談支援や障害特性にあった保育・教育の充実が最も高く約7割。
- 【年齢別】年齢が上がるにつれて福祉人材の確保や余暇活動の充実が高く、加えて通所施設、緊急時対応、災害時支援なども高い。



【年齢別】 自立した生活を送るために、重要と思う取り組み(クロス集計)

		回答者数	相談支援の充実	障害特性にあった 保育、教育の充実	日中活動の場であ る通所施設の充実	円滑な意思疎通に向 けた取り組みの充実	必要な情報の取得や 円滑な意思疎通に向 けた取り組みの充実	就労に向けた支援 や雇用環境の充実	機能訓練や生活訓 練の充実	早期発見・早期療 育体制の充実	福祉人材の確保	障害理解を促進す る福祉教育の充実
【全体】		250 100.0	<u>173</u> <u>69.2</u>	<u>173</u> <u>69.2</u>	145 58.0	140 56.0	140 56.0	138 55.2	134 53.6	123 49.2	111 44.4	
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	58 63.7	<u>62</u> <u>68.1</u>	50 54.9	47 51.6	41 45.1	56 61.5	50 54.9	33 36.3	31 34.1	
	6～12歳	128 100.0	<u>92</u> <u>71.9</u>	<u>92</u> <u>71.9</u>	74 57.8	76 59.4	82 64.1	69 53.9	72 56.3	71 55.5	63 49.2	
	13～15歳	18 100.0	<u>12</u> <u>66.7</u>	11 61.1	11 61.1	11 61.1	9 50.0	8 44.4	7 38.9	8 44.4	9 50.0	
	16～17歳	13 100.0	<u>11</u> <u>84.6</u>	8 61.5	10 76.9	6 46.2	8 61.5	5 38.5	5 38.5	<u>11</u> <u>84.6</u>	8 61.5	

		回答者数	移動支援や同行援 護の充実	緊急時対応の充実	障害者グループホ ームなど地域での 生活の場の充実	災害時の支援の充 実	人権を守る仕組み の充実	在宅生活に必要な サービスの充実	ショートステイ (短期入所)の充実	障害者差別解消法 の普及啓発	医療的ケアの充実
【全体】		250 100.0	107 42.8	107 42.8	99 39.6	97 38.8	85 34.0	83 33.2	81 32.4	79 31.6	77 30.8
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	33 36.3	30 33.0	27 29.7	26 28.6	24 26.4	31 34.1	28 30.8	22 24.2	31 34.1
	6～12歳	128 100.0	56 43.8	56 43.8	55 43.0	53 41.4	50 39.1	41 32.0	39 30.5	42 32.8	36 28.1
	13～15歳	18 100.0	10 55.6	11 61.1	8 44.4	9 50.0	5 27.8	5 27.8	6 33.3	9 50.0	8 44.4
	16～17歳	13 100.0	8 61.5	10 76.9	9 69.2	9 69.2	6 46.2	6 46.2	8 61.5	6 46.2	2 15.4

		回答者数	利用しやすい交通 機関などの整備	余暇活動の充実	住宅に関する情報 提供の充実	ボランティア活動 などの地域活動の 促進	その他	わからない	特にない	無回答
【全体】		250 100.0	77 30.8	66 26.4	57 22.8	44 17.6	14 5.6	10 4.0	2 0.8	3 1.2
【年齢別】	0～5歳	91 100.0	26 28.6	13 14.3	14 15.4	9 9.9	4 4.4	6 6.6	1 1.1	0 0.0
	6～12歳	128 100.0	38 29.7	37 28.9	36 28.1	26 20.3	9 7.0	4 3.1	1 0.8	2 1.6
	13～15歳	18 100.0	8 44.4	6 33.3	3 16.7	4 22.2	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6
	16～17歳	13 100.0	5 38.5	10 76.9	4 30.8	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0